

●モノグラフ

小学生ナウ

Vol. 7-11

## 新入生白書

### 目次

要 約	2
はじめに	4
1. 入学にあたって	5
●準備したもの	6
●かかった費用	9
2. おけいごと	11
3. 入学前の子どもたち	14
●入学前にできているか	14
4. 学校に期待するもの	18
●最も力を入れてほしいもの	18
●6年生になったとき	20
5. 子どもに期待するもの	22
●期待通りに成長したか	22
6. 親たちの願い	25
●親の願いと子どもの生活	25
●外遊び時間との関係	28
子ども研究ノート ⑩ 手 伝 い	深谷昌志……30
資料1 調査票見本	……37
資料2 基礎集計表	……44

# 調査レポート／新入生白書

## 要約



### ① 学用品を求めた割合

ランドセルが80%、クレヨン77%、くつ63%  
などが、親が買った割合である(図3)。



### ② 入学にかかった費用

1番上の子どもだと9万1千円、2番目の子どもだと  
6万7千円になる(図6、表1)。



### ③ 費用についての感じ方

やむをえない出費という親が52%と、半数を  
占める(図7)。



### ④ 入学前にできたこと

自分の名前を書ける子は95%、ひらがなを  
読める子は78%に達する(図13)。

### 調査概要

1. 調査主題 新入生白書
2. 調査視点 就学前に身につけていることや準備していること、また子どもに対する期待について小学1年生の実態と母親の意識をさぐる。
3. 調査項目 入学のために用意したものについて／入学にかかった費用について／塾やおけいこごとについて／学校で身につけられることについて／将来の希望について

放 送 大 学 教 授 深 谷 昌 志

東京都江戸川区立小松川第二小学校教諭 矢 部 崇

⑤ 学校への期待

とりあえず友だちと仲よくなることを願いたい(図16)。



⑥ 1年生から6年生へ

低学年のうち、友だちづき合いを大事にしたいが、学年が上がったら、勉強をがんばってほしい(図17)。



⑦ 期待通りに成長したか

体力面をはじめ、ほぼ考えていたように成長してきた(図18)。



4. 調査時期 昭和62年7月～9月

5. 調査対象 小学1年生の子どもを持つ母親

6. 調査方法 学校通しによる質問紙調査

7. サンプル 小学1年生の子ども(男子296名、  
女子240名)を持つ母親 556名

## 就学年齢引き下げの動き

昭和62年の秋に、アメリカ西海岸を訪ねた。放送大学の教材作りのために、アメリカの学校をテレビを通して紹介したいと思ったからである。

そこで、現地のカメラマンを伴い、アメリカの授業風景などを収録してきた。そうした中で気づいたことは、さまざまな地域で就学年齢の引き下げが行われている事実であった。

小学校が6年制であることに変わりはないが、幼稚園の年長組を小学校へ入れ、小学5年までの6年制の学校にする。そして中学は、小学6年から中学3年までの4年制とし、実質的に、6、4、3制を行う試みである。

関係者たちに、そうした動きの背景をたずねてみた。子どもたちの数がへって、よりきめこまやかな対応が可能になった。特に中学校では、教室があまってきたので、4学年を収容できるようになった。

発達段階からいっても、小学6年は中学生に近いので、4年制の中学は理想に近い。それに加え、子どもたちの成長が早まっており、

1年生へ入るときにはかなりの知識をもっている。それだけに、幼稚園の年長組を小学校へ入学させたほうが、子どもの発達に則した教育ができる。

そうはいっても、一足とびに、学校改革はできないので、地域ごとに教室のあき具合をみながら、就学年齢の引き下げを行っていきたいという。

それだけに、ワシントン州の中でも、地域により、年齢の引き下げを行っているところと行っていないところとがあり、一律に実施されているものではなかった。

しかし、本レポートでもふれている通り、子どもたちは就学する以前に、さまざまな力を身につけており、そうした意味での成長加速現象は著しい。

したがって、いまずぐは無理としても、子どもたちの知的な成長ぶりを視野に入れて、こうした就学年齢の問題も今後の大きな検討課題となろう。

# 1. 入学にあたって



自分の子どもが、初めて小学校の門をくぐるときは、その子にとってはむろんのこと、親にとっても大切な節目のときであることはまちがいない。学校教育の出発点ともいべき小学校への入学は、生涯忘れることのできない記念すべきできごとであろう。それは、中学や高校に入学することとは、比べものにならない。生まれてこのかた、さまざまなことがあった。しかし、なんとか成長して、入学のときを迎えた。それだけに、自分の子どもが少しでも一人前に近づいた感じがするのが入学式の前後となる。

さて、本調査では、昭和62年4月に入学した1年生の保護者556名を対象に「入学前の準備」「小学校への期待」などについて回答を求めた。調査時期は、子どもが入学して学

校生活にも慣れたと思われる7～9月である。

まずはじめに、サンプルとなった母親たちの属性を図1と図2に掲げた。なお、比較のため『モノグラフ・小学生ナウ』Vol.7-5（働くお母さん）の母親の属性も掲げ、本サンプルの属性をより明らかにしたいと思う。

図1-(1)は、母親の職業を示している。専業主婦は62%と、およそ5分の3を占めている。ところが、図1-(2)をみると専業主婦は41%と、5分の2になっている。図1-(2)の調査対象は、1～6年生の母親であることを考えると、子どもが成長するにつれ、母親は勤めに出ていくことが明らかになる。子どもに手がかからなくなるからであろう。

図1-(1) 母親の属性

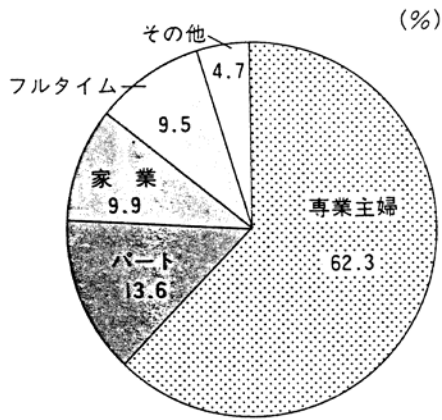
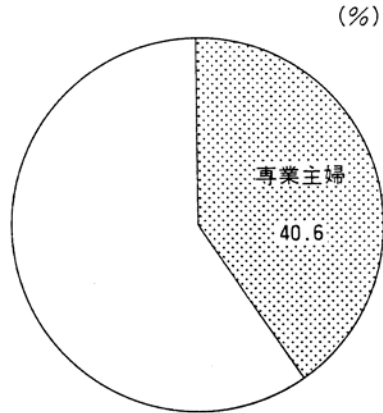
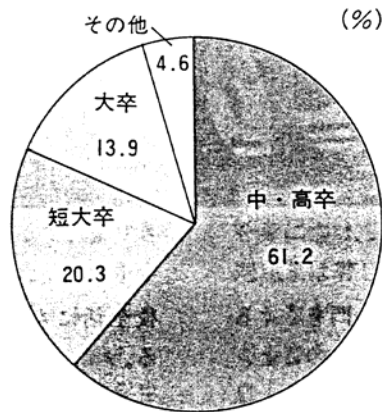


図1-(2) 母親の属性



『モノグラフ・小学生ナウ』  
Vol. 7-5 (働くお母さん)より

図2 母親の学歴



## //// 準備したもの ////

4月上旬、桜の花の咲く頃、日本全国いたる所で入学式が行われている。そして、誰が見ても1年生だとわかるのは、ピカピカのランドセルを背負っているからに相違あるまい。

さて、母親はわが子の門出である小学校の入学に際して、いろいろな準備をするのは当然である。では実際にどうなっているのか、

入学のためにそろえたものを追ってみた。

まず図3では、「どんなもの(学用品など)を用意したか」をたずねている。「使っていない」の項目は、漢字や計算のドリルが30%以外は、いずれも1割にみたない結果となっているので、なんらかのかたちで用意したと考えられる。前述のランドセルは、「新しく買った」

に「もらった」を加えると、99.8%となり、新品のランドセルであることがはっきりする。他にも体操着、うわばきなど、学校に入って初めて必要となったものについては、当然のごとく「新しく買った」割合が高く、9割を超えている。

ではそれら学用品などを準備するとなったら、どのくらい買うものだろうか。図4は、「何をどのくらい買ったか」が示されている。体操着は1着、うわばきは1足、ランドセルは1個……そしてノートは3～4冊、鉛筆は16本くらい買いそろえていることがわかる。

さらに図5でも、「入学のために用意(準備)したもの」をたずねてみたが、勉強机を用意した親は76%と、4人のうち3人という高率である。また2人に1人は入学式用の子ども服を用意しており、4人に1人は自分の子どもの晴れの舞台である入学式のために、母親自身の服を用意している。この数字は、低いとみるべきなのだろうか。

同じ図の中で、子ども部屋まで用意している親が12%もいることには驚かされるが、親が少しでも子どもの勉強のために、環境を整えてあげようとしている姿勢がよくわかる。

図3 学用品を求めた割合

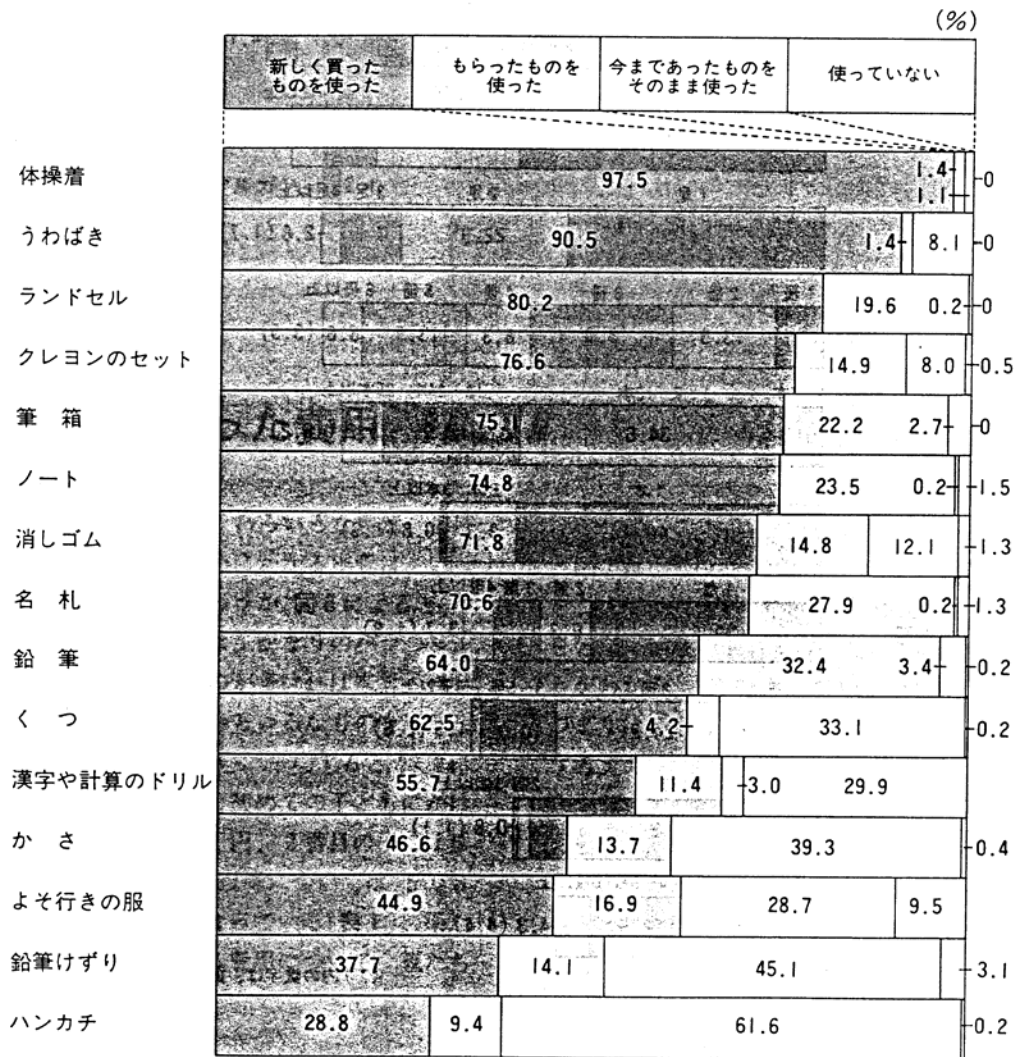
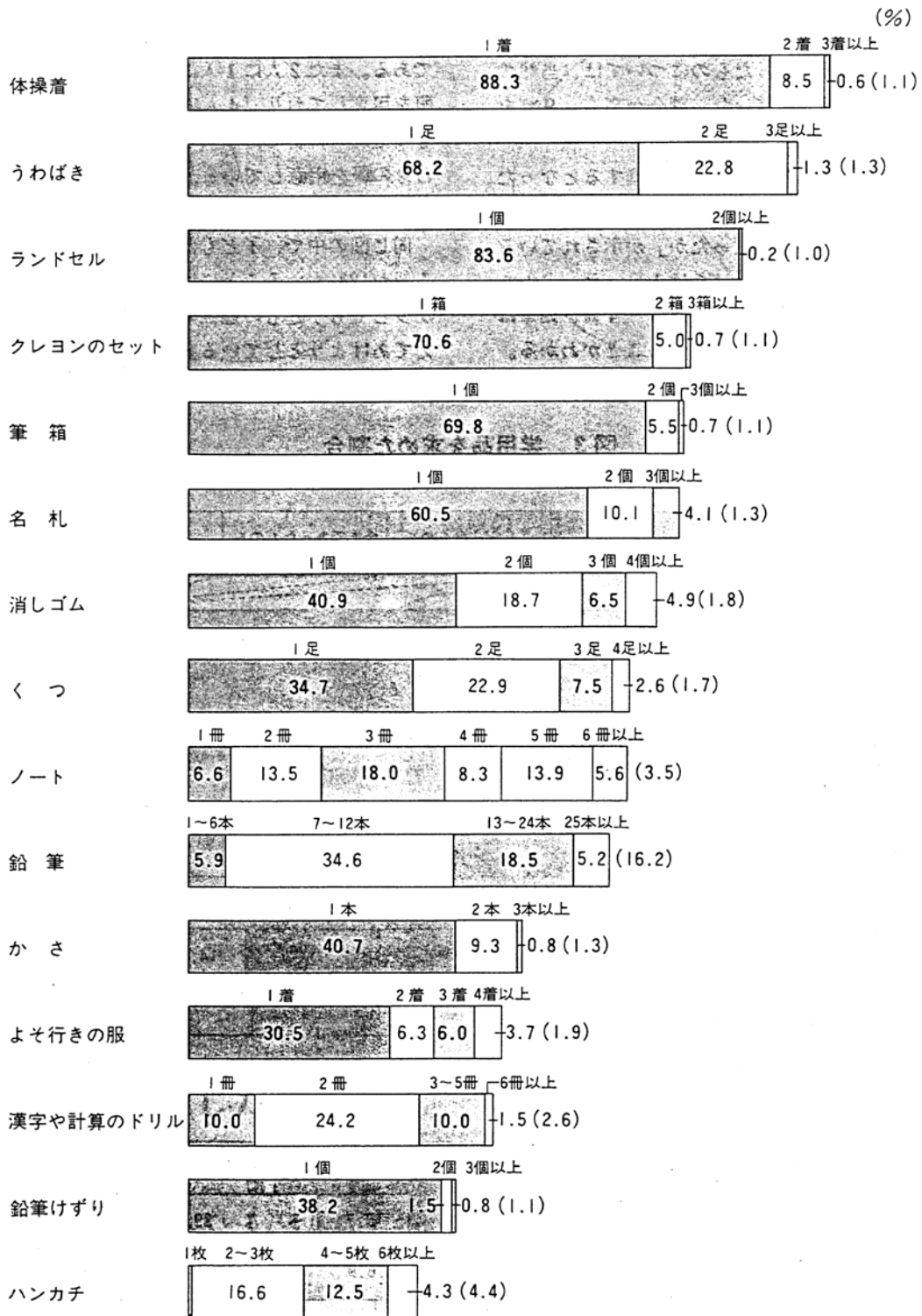


図4 学用品を買った数

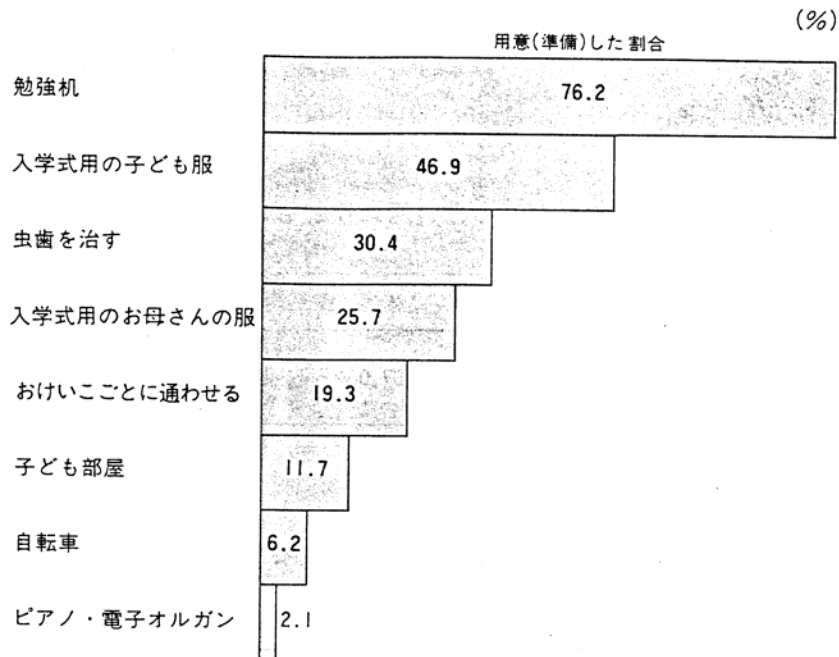


0.9

( )内の数字は、買った数の平均値



図5 入学前後に用意したもの



## //// かった費用 ////

子どもの入学には、いろいろな用意、準備が必要だが、そのためにかかる出費は、いったいいくらぐらいだろうか。図6によると、かった費用については、かなりのバラつきがみられる。もらいものが多ければ家計への負担は少なくてすみ、いろいろなものを用意しようと思えば限度がない。平均すると77,743円になった。そして、初めての子どもにかかる費用は平均9万1千円、2番目の子には6万7千円、3番目の子以降については、5万8千円と、次第に安くなっている(表1)。果たして、これだけかかる費用について、親たち

はどう思っているのだろうか。

図7は、「かった費用についてどう思うか」を、たずねたものである。一見して、「やむをえない出費の額」と考えている親が多いことがわかる。「やむをえない」という考えは、つまりは「もっと安くすむはずだった」という考えが入っていることであるから、「かかりすぎ」まではいかなくとも、それに近い感情をもっているのだろう。だがそこで「かかりすぎ」と思わずに「やむをえない」と思わせるところに、子どもの入学の偉大さがうかがえる。

図6 入学にかかった費用

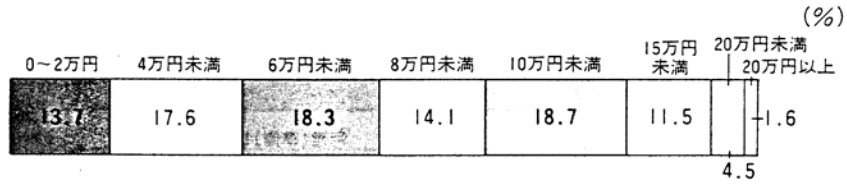
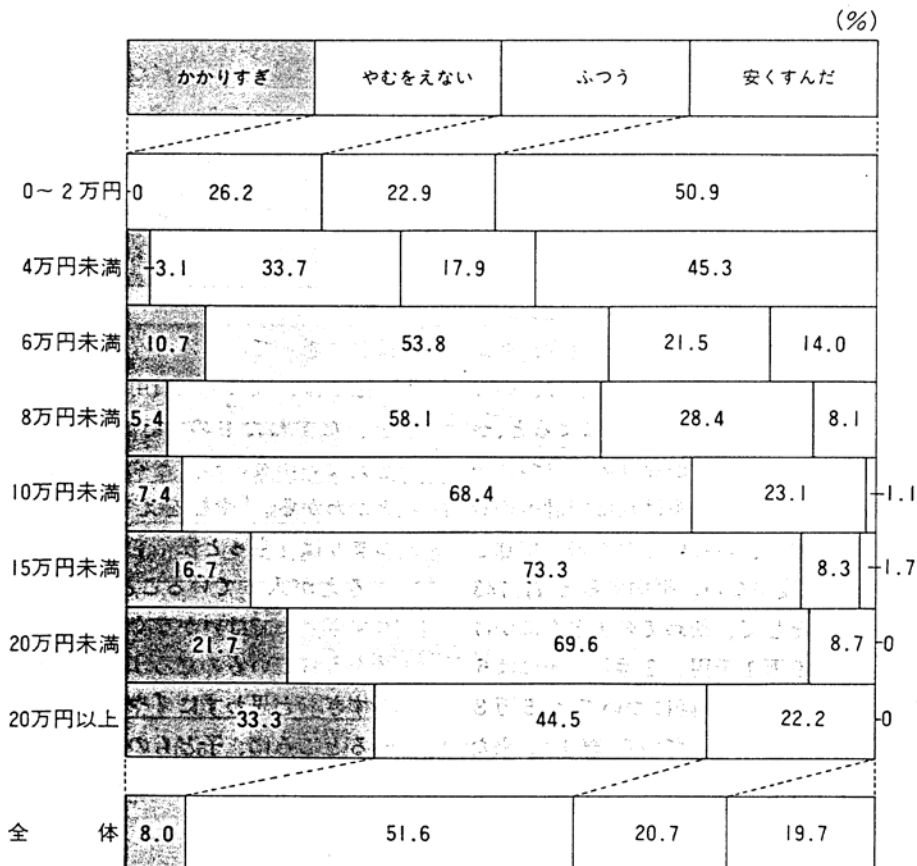


表1 入学にかかった費用×子どもの順序

	1番上	2番目	3番目から下
かかった費用	91,200円	67,004円	58,470円

図7 費用についての感じ方



## 2. おけいごと



次に、子どもの生活とは切り離して考えられない塾やおけいごとが、小学校1年生の生活に、どのように入りこんでいるかを調査してみた。

図8は、現在のおけいごとや塾通いの状況である。なんらかのかたちで、どこかへ通っている子どもは74%にも達し、入学して半年もたたないうちに、塾へもおけいごとへも行かない子どもは、4人のうち1人だけになってしまっている。さらに「入学前から行っている」子が半数を超えていることも驚くべき数字といえよう。

さて、図9によると、子どもたちは週に平均2.2回、塾やおけいごとに通っている。放課後、友だちと遊ぶ時間は、これで十分確保されるのだろうか。これについては、後にくわしくふれたいと思う。

図10、図11は、子どもたちが、「どのようなおけいごとへ通っているか」をたずねたものである。スイミング、ピアノは男女差が大きい、かなり高い数値である。これは「行っ

ている」と答えた74%の子どもを全体100%としての数値であるが、とくに男子のスイミングは62%と、行っていない子を含めた1年生全男子のうち2人に1人はスイミングに通っているという、かなり驚くべき数値になっている。学校教育におけるプールの時間は、彼らにとってどういう時間になるのだろうか。

図12は、図8で「いずれは行かせたい」と答えた20%の親に対して、「どこへ行かせたいか」をたずねた結果である。「そろばん」「習字」がいずれも41%と高い。この数値の中には、現在どこかへ通っているが、もっと別な所へも行かせたいと考えている親についてのデータは含まれていないので、塾やおけいごとのかけもちを考えると、さらに割合が上がることは必至である。そして小学校1年生のときから、いや、小学校入学以前から塾やおけいごとが生活の中に入りこんでいる子どもの姿が、ここでは明らかになり、また、それに対する親の姿勢もはっきりしたように思う。

図8 おけいごとや塾通い

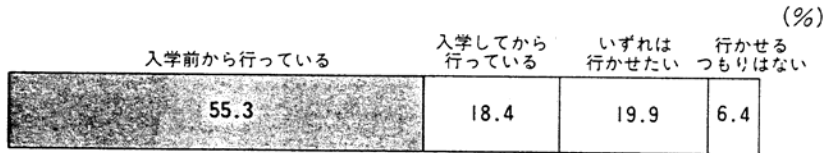


図9 おけいごとや塾通いの回数

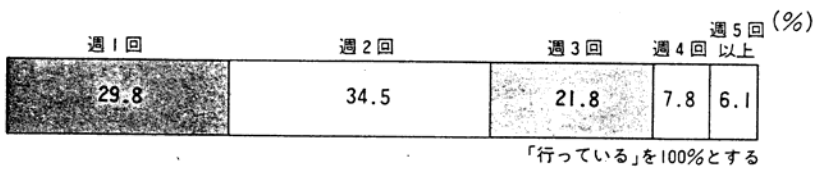


図10 おけいごとの種類

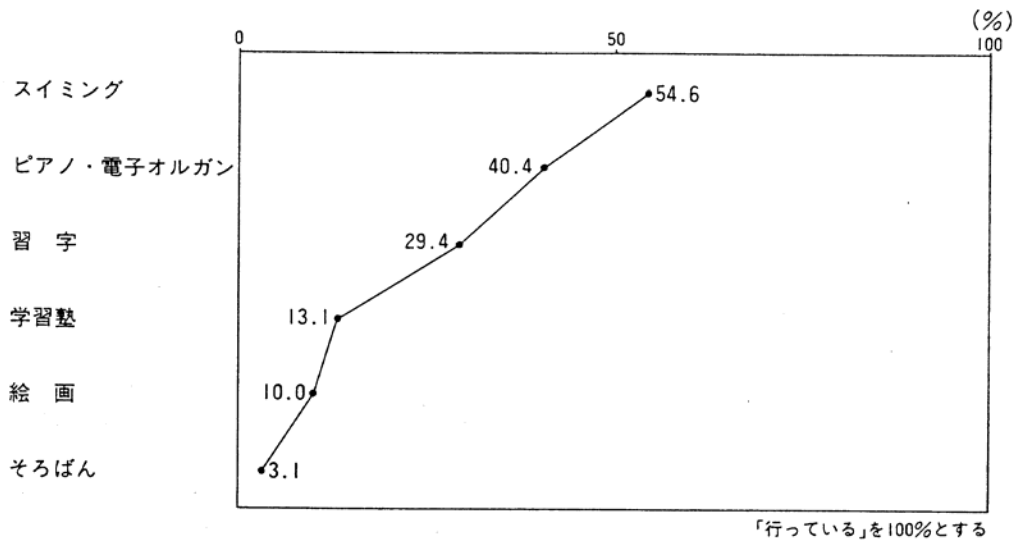


図11 おけいこごとの種類×性

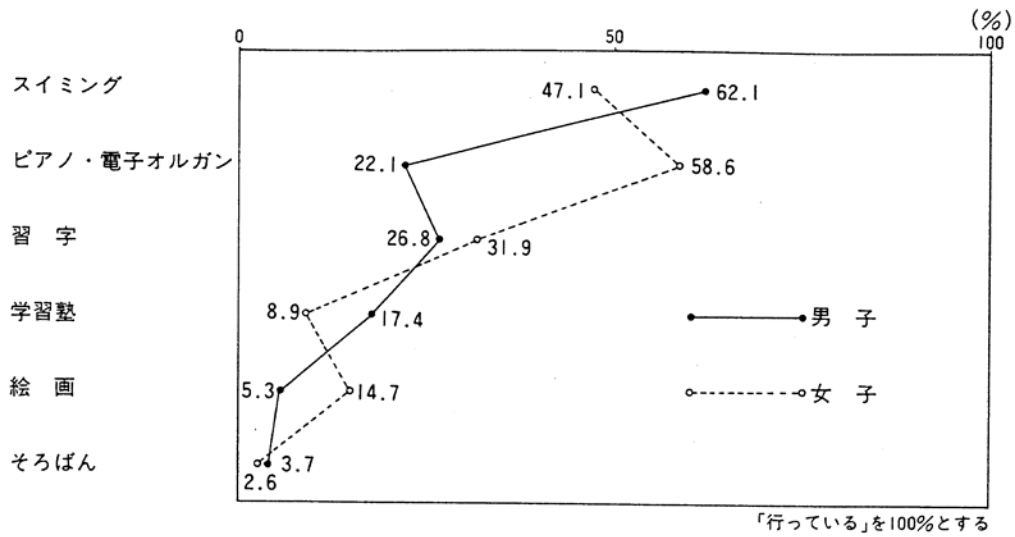
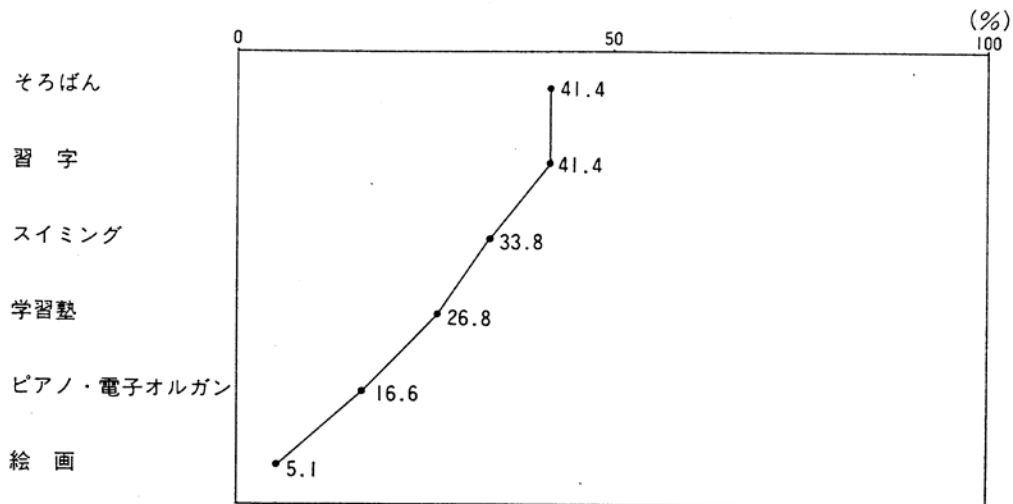


図12 将来行かせたいと思う割合



### 3. 入学前の子どもたち



#### /// 入学前にできているか ///

入学に際しての家庭での準備は、今までみてきたように、並大抵のものではない、という気がしてきてならないが、それでは次に入学前の子どもたちの生活について追ってみたいと思う。

図13をみていただきたい。子どもが入学前に、「どんなことができたか」をたずねてみたものだが、「自分の名前を書く」ことができる子どもは、「少しできた」子どもを含めると99%である。したがって名前を書けない子は100人に1人いるかないか、というくらいの数字である。ということは、すでに入学した時点で、ほぼ全員が自分の名前を書け、たとえ書けない子がいたとしても1人ということになる。

だいたい、字を習うこと自体小学校1年生の勉強として位置づけられているのに、この

割合は驚くほど高い。とはいうものの自分の名前くらい書けることが、入学の時点でほぼ全員できることに対する違和感はあまりない。

同じように、勉強という視点で捉えていくと、「ひらがなを全部読む」が「少しできた」まで含めると91%、「ひらがなを全部書く」が85%と、かなり数値が高い。図の下の方で少ないような印象を受けるが、「たし算ができる」は75%、「ひき算ができる」についても少ないとはいえ、半数を超えて53%である。これらの項目については、幼稚園で少し教えているという話も耳にすることがあるが、親が家で教えている可能性が高い。スイミングや習字に行っておけば、学校では楽であるし、また少しでも他の子どもより先んじていることが、特に勉強のうえでは有効と考えている

ことが、このような結果をもたらしたのであろう。

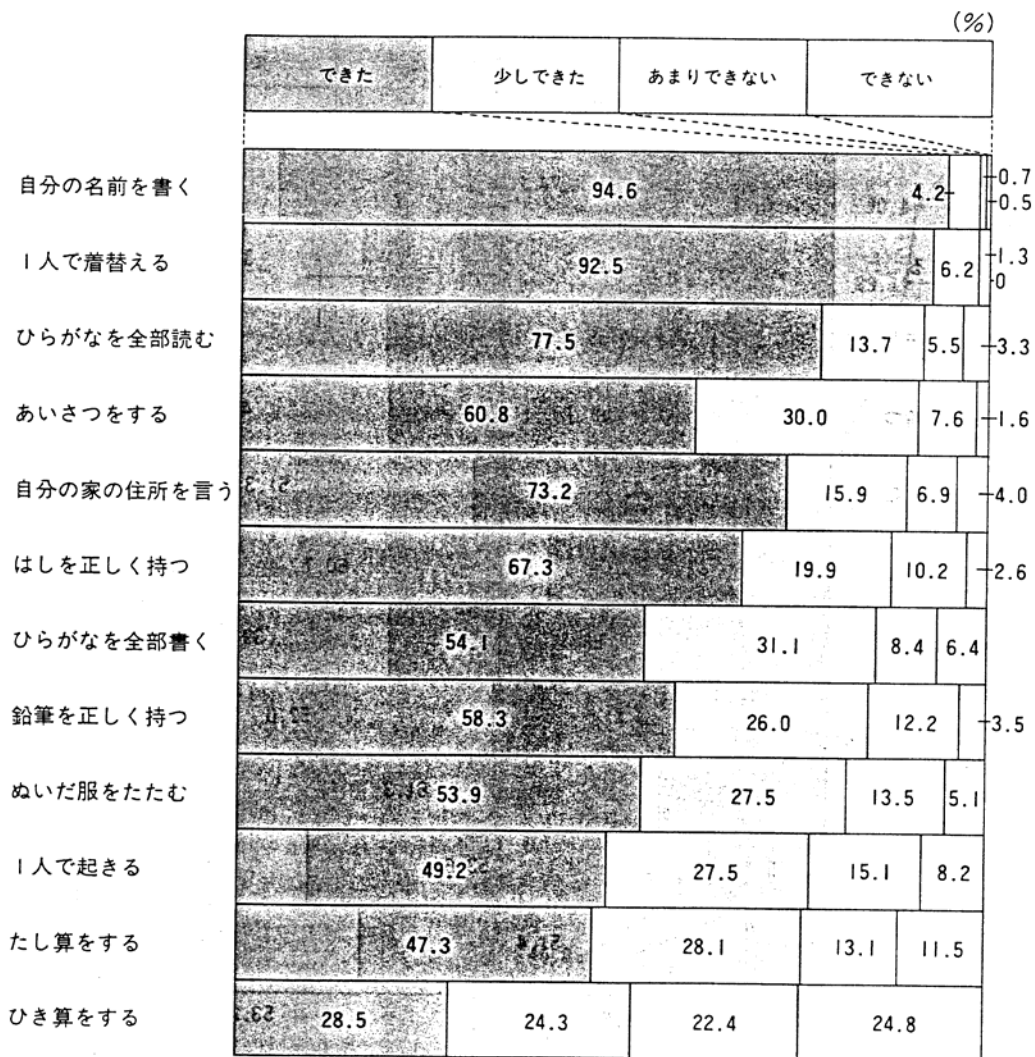
では、勉強以外の生活では、入学前の様子はどうだったのだろうか。同じ図13によると、「1人で着替える」ことができた子は99%、「あいさつができる」91%など、その割合はいずれも高い。家でよくしつけられているという気がする。

図13にある項目について、親がどう考えているかは、その「できる」「できない」に大きく影響すると考えられる。そこで図14では、

図13の項目が、「どのくらいできるべきか」をたずね、親の意識をさぐってみた。「できていたほうがいい」までを含めて考えると、「1人で着替える」が100%、「あいさつをする」が99.8%など、家庭でのしつけの部分と一般的に考えられている項目の割合がかなり高い。学校での集団生活で子どもが不安にならないように、親は家でしつけようとしていることになるだろう。

さて、図13でも問題となった勉強という視点で図14をみていくと、図13とは、かなりは

図13 入学前にできたことの割合



っきりとした違いがあることがわかる。「『ひらがなを全部読む』ことなんて、できなくてもいいわ」と考える親が16%もいるのをはじめとして、「ひらがなを全部書けなくてもよい」が31%、「たし算」「ひき算」については、それぞれ38%、53%が入学前からできていなくてもよいと答えている。

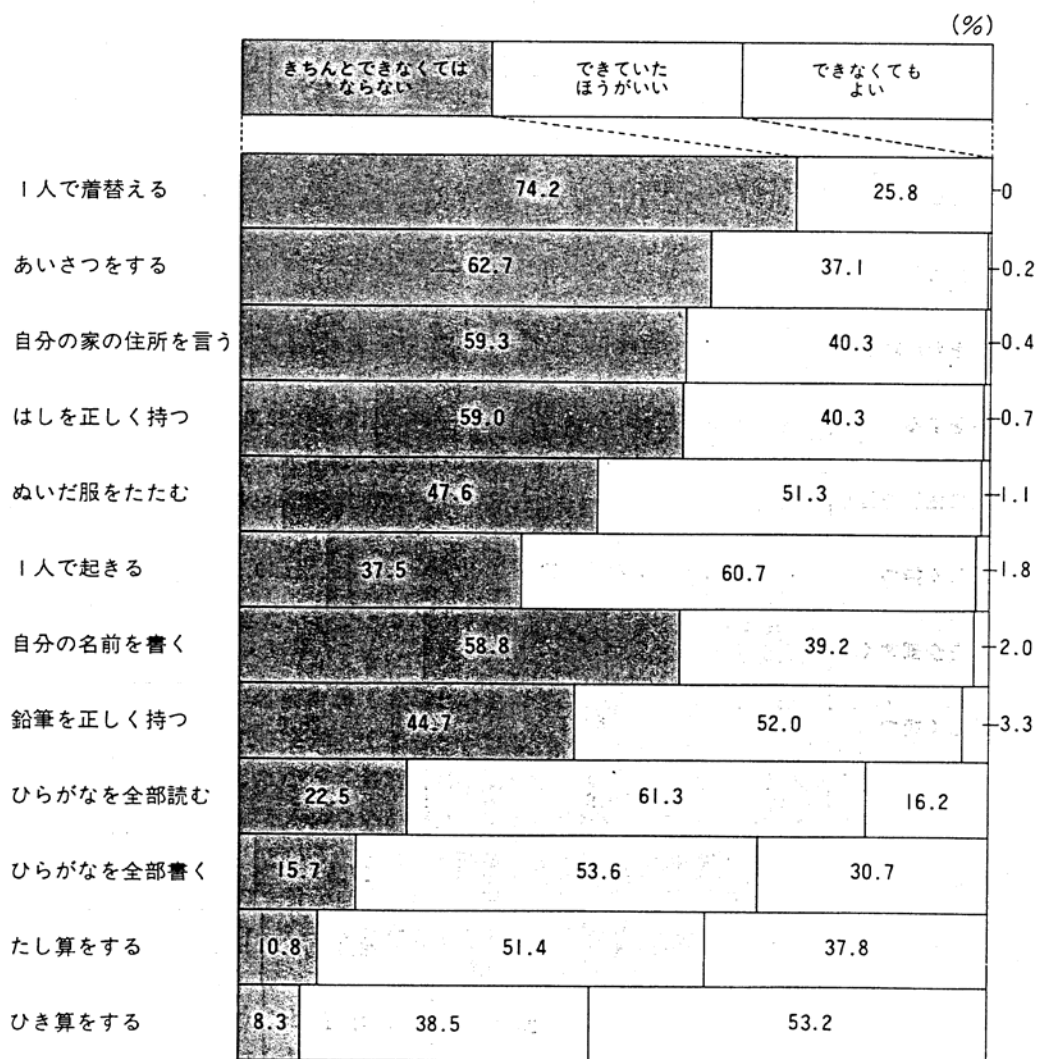
これは、「小学校に入ってから、教えてもらうのだから、それからでいい」と考えているからにほかならない。意識のうえでは、これら勉強のことは「小学校で習うものだ」とい

うことになっているのだから、母親がそう思うのは当然であろう。

とはいえ図13と図14、つまり、実際の子どもの状況と、親の意識にはズレがあることをはっきりさせるため、図15では、それぞれの実態と意識についてのみピックアップして並べてみた。子どものほうは、図13で「できた」と「少しできた」をあわせた割合、親のほうは「できていたほうがよい」までを含めた割合である。

「1人で着替える」ことはできていたほうが

図14 できることへの期待





いいと思う親は100%、それに対してできる子どもは99%いたというように図をみていく。「1人で起きる」という項目あたりまでは、親のほうの意識に対して、子どもの実態は低い。

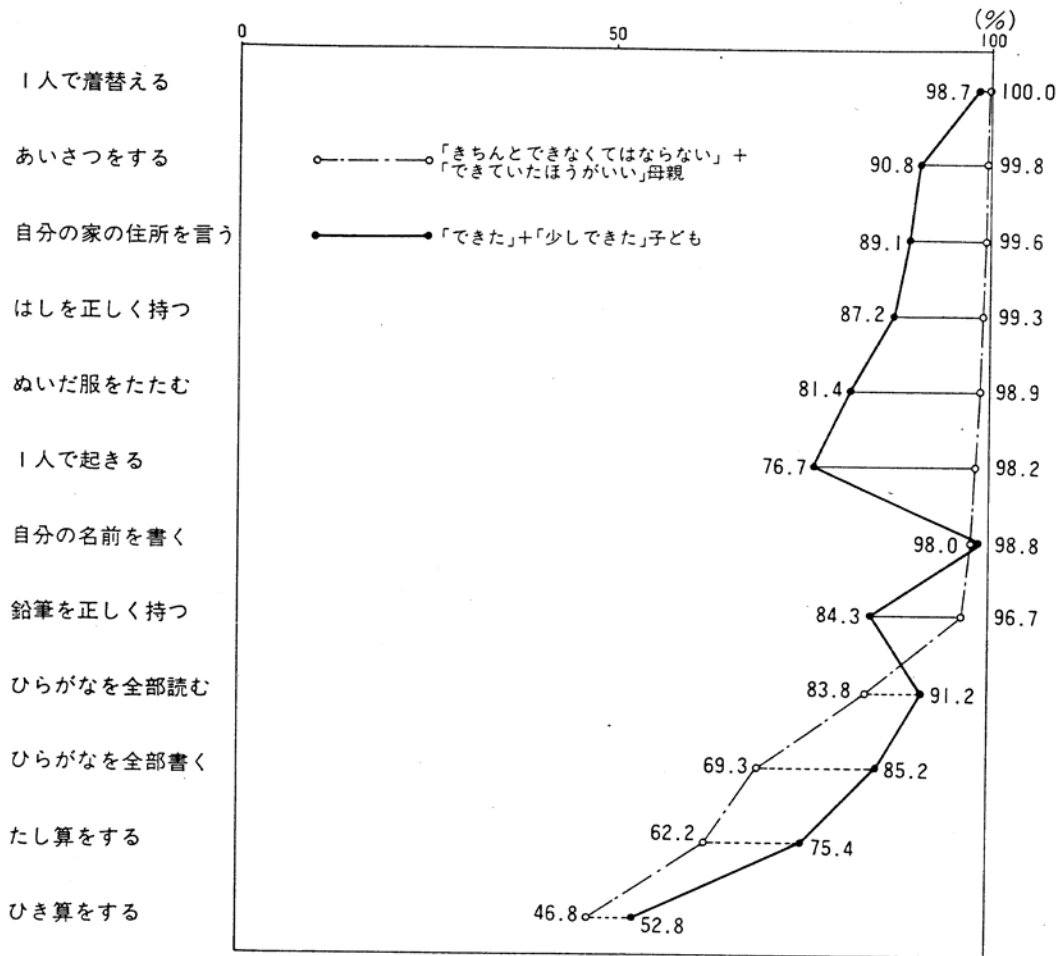
親ができてほしいという願いに対して、子どもは十分に応じきれてはいないと考えられる。ところがどうであろう、図の下の4項目は、子どもと親の数値が逆転している。たとえば、「ひらがなを全部読む」については、親のほうでは84%が「できていたほうがよい」程度に考えているが、実際には91%の子どもがで

きてしまっている。同様に、ここでの勉強に関する項目についてのみ、子どもの実態の割合が、すべて上回る。

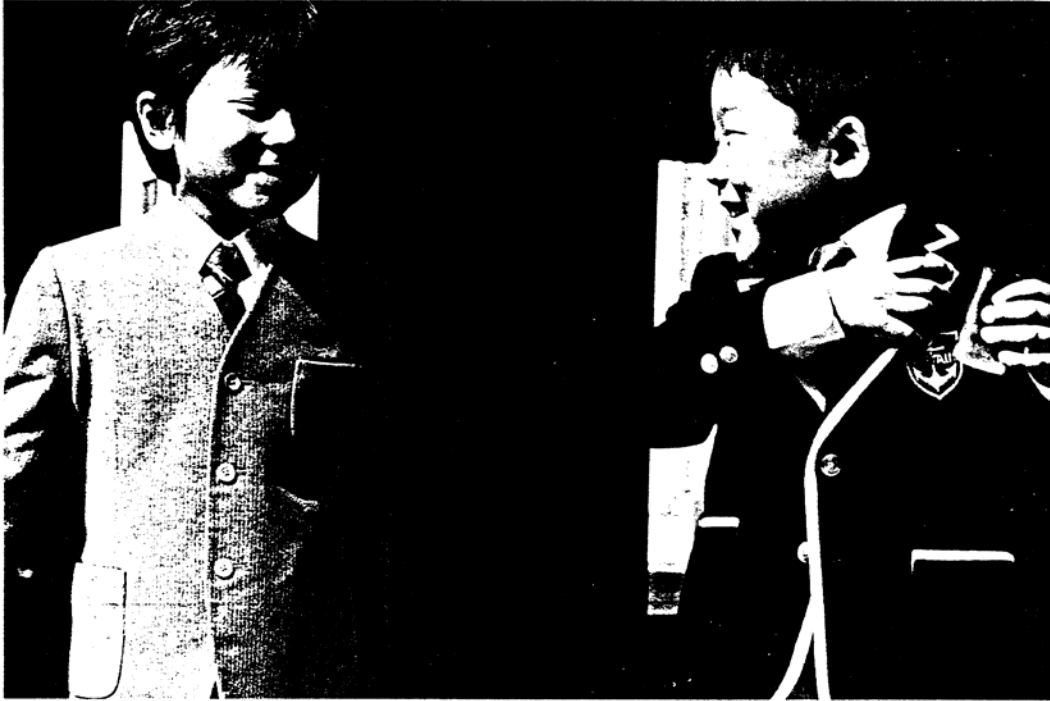
これは、親のほうで「できなくてもよい」とは思いつつも、現実を見渡す限りでは、やはり子どものことを思うと「できていたほうがよい」と考えているからではないだろうか。

数字のうえでは、図のようになっているが、本当の気持ちとしては、もっと高い割合を示すのではないだろうか。そのあたりが、親の子どもに対する意識の微妙なところなのだと思う。

図15 意識と実態とのずれ



## 4. 学校に期待するもの



### /// 最も力を入れてほしいもの ///

次に新入生の親が、学校教育に対して、どう考えているかをみていきたいと思う。

図16は、「学校でどのくらい身につけられるか」をたずねたものである。親が、学校で身につけられると考えている事柄は、「友だちと仲よくすること」が94%と圧倒的に多く、ついで「食べ物の好ききらいをなくす」が81%、以下、「最後までがんばりぬく力」「基本的な生活習慣」「すすんで取り組む態度」などがそれぞれ70%台に達しており、学校教育に寄せる期待が大きいことをうかがわせる。

これらの項目の第1位となった「友だちと仲よくすること」については、確かに学校生活では重要である。友だちとの関係は、子どもの生活に大きな影響をもたらすと考えられるからである。それが、遊びの場であれ勉強の場であれ、友だちの重要性は学校で生活す

るうえで否定できるものではない。

しかし注目したいのは、第2位として位置づけられた「食べ物の好ききらいをなくす」である。おそらくこれは、学校給食に対する期待であるが、給食で好ききらいをなくせると考える親が81%もいることに対しては、首をかしげたくってしまう。なぜなら給食というのは、1週間の食事のうち、5回分だけしか占めていないからである。1日3度の食事なら残り16回は、家庭での食事となろう。

週に5回の給食で、食べ物の好ききらいというのは、それがある程度であれ、解消されるのであろうか。それとも、ここでは、小学校1年生が聞く先生の言葉に親は期待しているのであろうか。

さて次に、図16に掲げた項目の中で、子どもが1年生である今、「最も力を入れてほしい

ことはなにか」をたずねてみた。それが表2にまとめられている。1年生の今、1番力を入れてほしい事柄は、「友だちと仲よくすること」が33%と多く、前の図16と同様の結果が得られている。次に、「最後までがんばりぬく力」が26%、「すすんで取り組む態度」や「基本的な生活習慣」は、いずれも12%台である。

ところで図16では、「食べ物の好ききらいをなくすこと」が2位にランクされていたの

に、ここでは無残にも下から2番目になってしまっており、「友だちと仲よくすること」「すすんで取り組む態度」などの項目とは異なった結果となった。1番力を入れてほしいと答えた親は0.8%しかいないのである。「ある程度身につけられるだろう」と期待しながらも、「それほど、力を入れなくてもいいですよ」と言っているわけで、こう考えると、図16で81%を占めた理由もわかるような気がする。

図16 学校への期待

	十分身につけられるだろう	ある程度身につけられるだろう	どちらともいえない	あまり身につけられないだろう	ぜんぜん身につけられないだろう	(%)
友だちと仲よくすること	35.9	58.5		5.2	0.4	0
食べ物の好ききらいをなくすこと	20.3	60.9		14.8	3.8	0.2
最後までがんばりぬく力	9.0	67.3		19.7	3.8	0.2
基本的な生活習慣	13.2	62.3		19.1	5.2	0.2
すすんで取り組む態度	11.3	62.4		23.2	3.1	0
物を大切にすること	9.1	54.0		28.4	7.8	0.7
スポーツが得意になること	8.3	51.5		33.3	6.7	0.2
豊かな情操	8.3	49.8		33.2	8.0	0.7
勉強が得意になること	6.5	44.6		43.3	5.1	0.5

表2 1年生のときに力を入れてほしいもの

(%)

	1番目に力を入れてほしいもの	2番目に力を入れてほしいもの	3番目に力を入れてほしいもの
友だちと仲よくすること	32.8	19.8	16.4
最後までがんばりぬく力	25.6	18.2	17.3
すすんで取り組む態度	12.2	21.3	17.2
基本的な生活習慣	12.0	12.9	8.1
豊かな情操	9.1	11.3	16.0
勉強が得意になること	4.5	3.2	6.5
物を大切にすること	2.4	10.1	11.3
食べ物の好ききらいをなくすこと	0.8	1.2	3.2
スポーツが得意になること	0.6	2.0	4.0

## 6年生になったとき

こうした、1年生の親としての考えと、6年生になったときとは、考え方が違うのは当然である。そこで今度は、同じ項目で子どもが6年生になったときに「最も力を入れてほしいことはなにか」をたずね、表3にまとめてみた。「最後までがんばりぬく力」40%、「すすんで取り組む態度」22%の順になり、この2項目は、1年生のときから生き残って上位に位置づけられている。

1年生のとき1位だった、「友だちと仲よくすること」は8%に下がっている。代わって上位に進出してきたのが、14%を占めた「勉

強が得意になること」である。

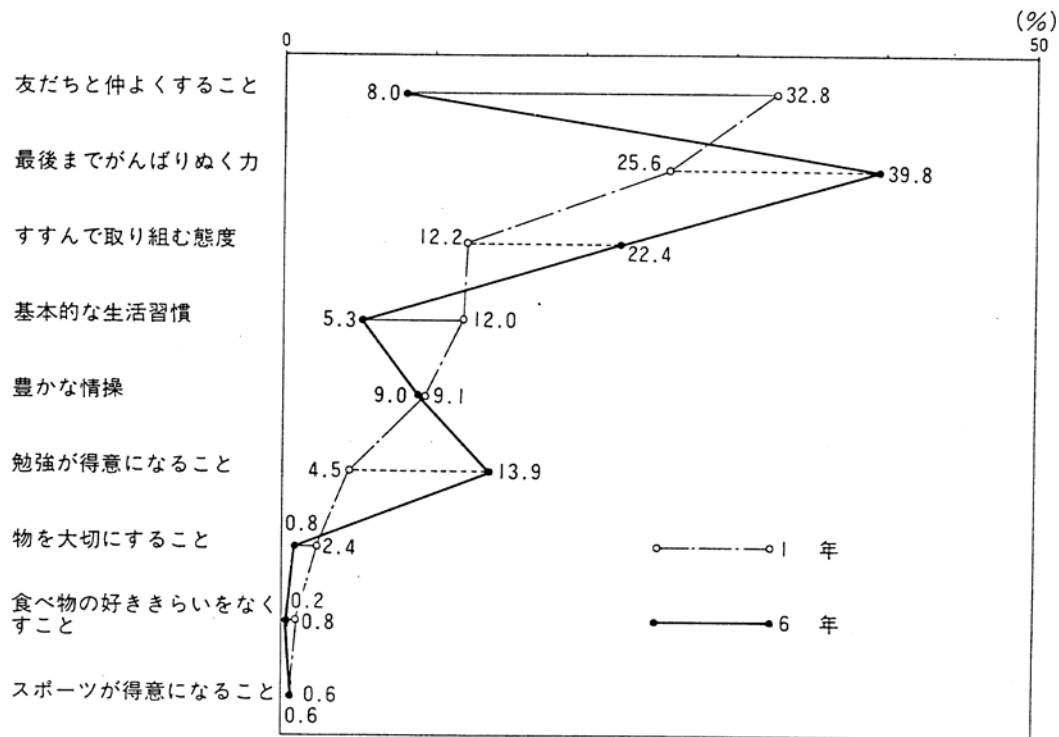
この結果をよく比較できるように、「最も力を入れてほしいこと」だけを抜き出して図17にまとめてみた。項目は、1年生のときの順位に並べてあるが、かなり変動の激しい項目があることがわかる。「最後までがんばりぬく力」と、「すすんで取り組む態度」は1年でも6年でも変わらぬ親の期待であるが、「友だちと仲よくすること」が6年では、大きく落ち込み、「勉強が得意になること」がそれに代わるかのように伸びてきていることのほうが、ここでは重要なのだと思われる。

表3 6年生のときに力を入れてほしいもの

	1番目に力を入れてほしいもの	2番目に力を入れてほしいもの	3番目に力を入れてほしいもの
最後までがんばりぬく力	39.8	25.0	14.7
すすんで取り組む態度	22.4	29.4	16.7
勉強が得意になること	13.9	12.0	12.9
豊かな情操	9.0	8.9	22.3
友だちと仲よくなること	8.0	11.2	14.7
基本的な生活習慣	5.3	6.9	5.6
物を大切にすること	0.8	3.1	7.7
スポーツが得意になること	0.6	3.1	4.6
食べ物の好ききらいをなくすこと	0.2	0.4	0.8

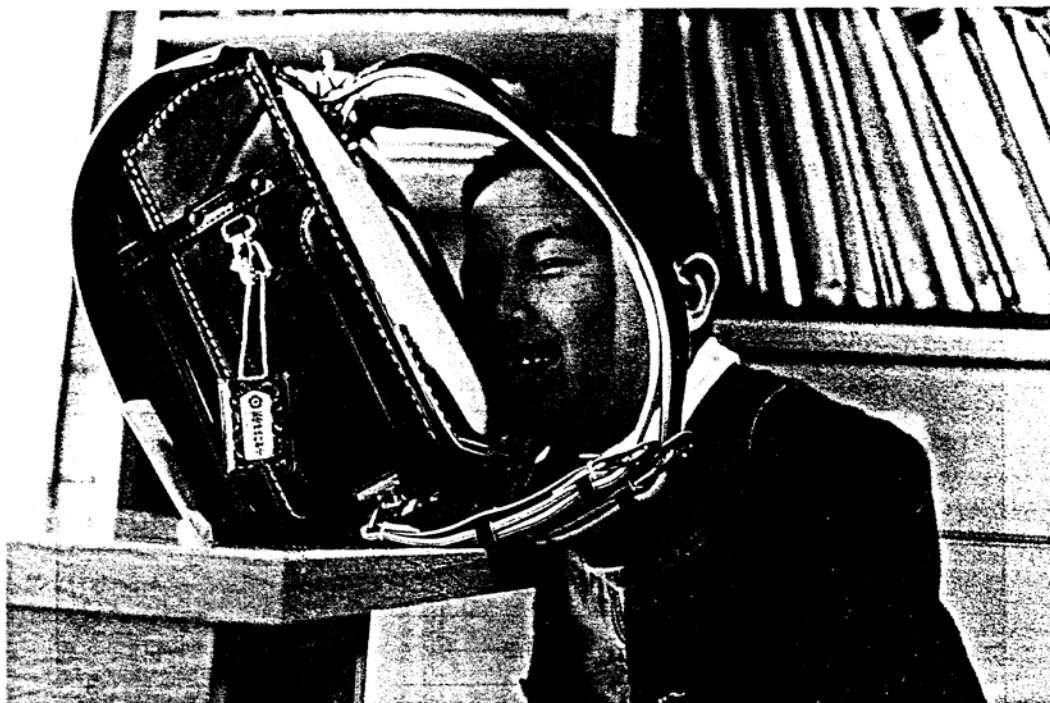
図17 力を入れてほしいもの

— 1年生と6年生との対比 —



「1番目に力を入れてほしいもの」の割合

## 5. 子どもに期待するもの



### /// 期待通りに成長したか ///

次の図18は、入学以来、親の期待した通りに、子どもが成長しているかどうかの結果である。入学して約半年、子どもたちは、ほぼ親の期待したように、成長してきていると考えていいのだろうか。「体力面」「友だち関係」については80%以上が、期待通りかそれ以上に成長したと答えている。最も下位の「積極的な姿勢」でさえも66%であるから、まあまあといったところであろう。

ここで、表3(P.21参照)に対応させて考えるとひとつの結果が浮かびあがる。図18の「積極的な姿勢」は、表3の「すすんで取り組む態度」に対応しているし、以下、「がんばりぬく力」と「最後までがんばりぬく力」、「学力面」と「勉強が得意になること」、というようになっている。「性格面」と「豊かな情操」、「友だち関係」と「友だちと仲よくすること」、

そして「体力面」と「スポーツ」である。現在までに期待するほど成長していないものから順に、6年生になった将来は、力を入れていってほしいと期待するのである。

しかし、近い将来つまり今後、成長してほしい点は、図19にもあるように、やはり「がんばりぬく力」や「積極的な姿勢」なのだが、表2でもみてきたように、1年生の現在は友だちとの関係が、重要であると考えられており、また図18で期待通りに成長しているにもかかわらず「友だち関係」は13%と、その割合は高くなっている。

それと入れかわっているのが、「学力面」である。たて前はそうであっても、本音としては、もう少し勉強もがんばってほしいと、考えているのではないだろうか。

図20には、今の1年生が、おとなになった

ときに、どうあってほしいかをきいたものだが、「できればそうなってほしい」までを含めて、「やさしい思いやりのある人になってほしい」が95%、「良い父母となり幸せな家庭を作る」が87%と多く、子どもの幸せを願う親の気持ちがよくあらわれている。やはり、

幸せな人生を送ってほしいというのが親の素直な気持ちであり、「有名高校、一流大学に入学する」「一流企業に就職する」などの数値が低いことから、それはうかがえるのである。

図18 期待通りに成長したか

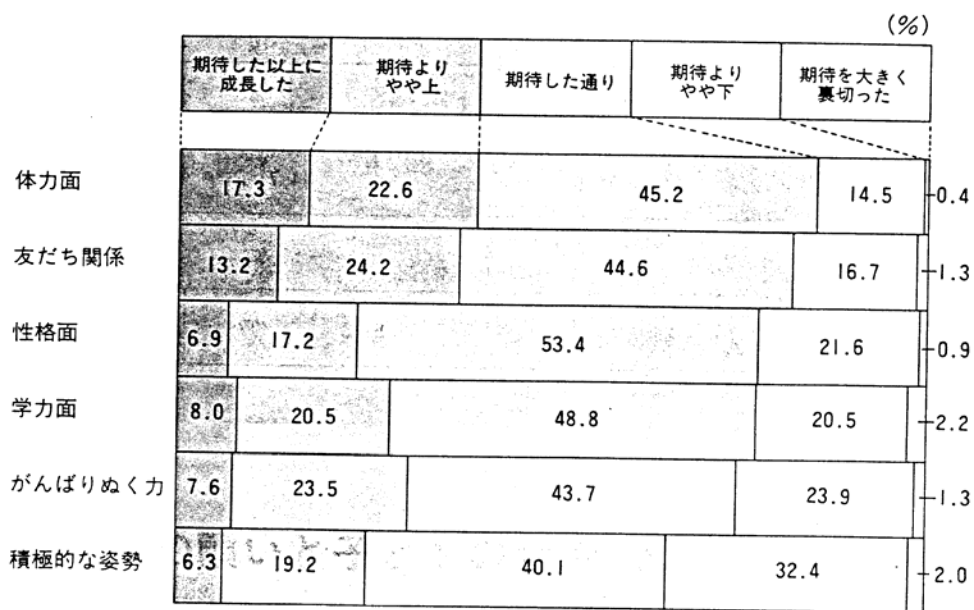


図19 近い将来、成長してほしいこと

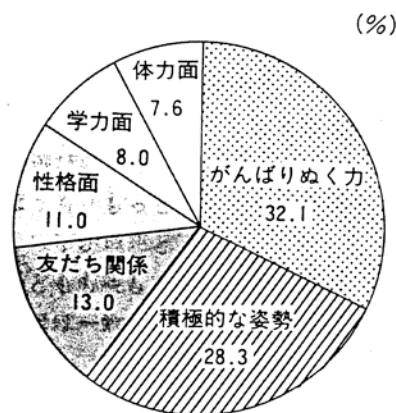
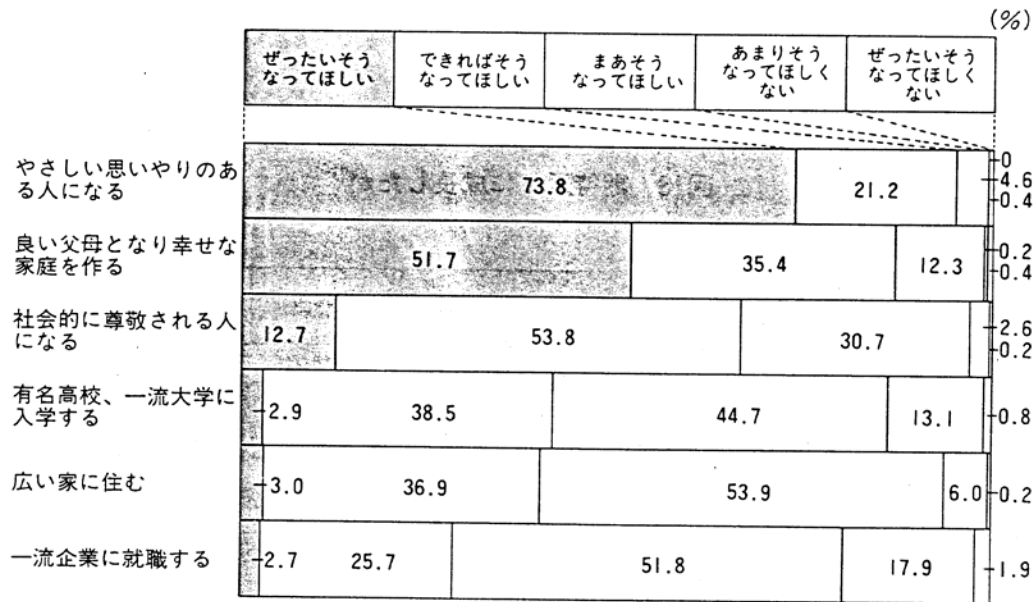


図20 どんなおとなになってほしいか





## 6. 親たちの願い



### /// 親の願いと子どもの生活 ///

最後に1年生のふだんの生活の様子と、親の考え方について調べてみた。それが図21～図24である。子どものデータは、実際の子どもの生活の状況である。また、親のデータは、1年生としての理想はどのくらいかという親の考えである。

まず図21は、外遊びについての様子を示しているが、1日に30分以下の外遊びの子どもが5%もあり、これには親のほうも「もっと遊んでよい」と思うのか、30分以下が理想とする親はいない。だいたい、子どもも親も2時間ないしは3時間くらいで、ほぼ一致しているようだ。

図22は、図21が外遊びだったのに対し、内遊びの状況を示している。外遊びの時間より少ないが、結構、家の中で遊んでいる時間は

長い。子どもというものは、本来、外遊びをしたがるものであるから、この内遊びの時間は少ないはずである。にもかかわらず、2時間を超えている子が15%近くにもなっている。親のほうとしては、もう少し内遊びは減らしてほしいと思っているらしい。それでも2時間を超えていいと考えている親が6%もいる。

図23は、テレビの視聴時間である。図22とかなり似かよったデータとなっている。ここでも親としては、もう少しテレビを見る時間を、減らしてほしいと考えているようだ。

こうして、内遊びの時間は減らしてほしいと思ひ、テレビの時間も少なくしてほしいと考えている親は、この減った分の時間をどこへもっていかようとしているのだろうか。外遊びの時間が増えることを期待したいものであ

る。しかし現実には、図24にはっきりと表れてきている。親としては、勉強の時間を増やしてほしいのである。

図24によると、勉強時間は子どもの実態も、親の理想も長くて1時間というのが9割を超える。しかし30分で区切ると、その様子は大きくちがっている。30分以内の勉強時間の子どもは82%であるのに対し、親の理想としては、30分以内でよいとする親は、57%である。つまり、1時間以上はやらなくてもいいから、もう少し勉強してほしいというのが、親の願いなのである。

これら図21～図24を、すべて平均時間に置きかえて、整理したものが、図25である。外で遊ぶ時間については、親のほうでも、もう少し遊んでほしいと思いつつも、ほぼ2時間半で一致している。内遊び、テレビは共に1時間半くらいが子どもの平均だが、親としては、もう少しおさえたいらしい。そして、勉強の時間だが、実態としては30分であるが、親の理想は約5割増しの43分ということである。

やはりここでも、たとえ1年生であれ勉強について、最も心配していることが明らかになった。

図21 友だちと一緒に外で元気よく遊んでいるか

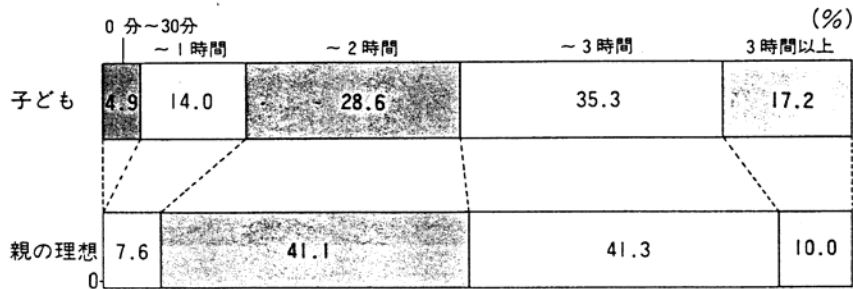


図22 家の中での遊び

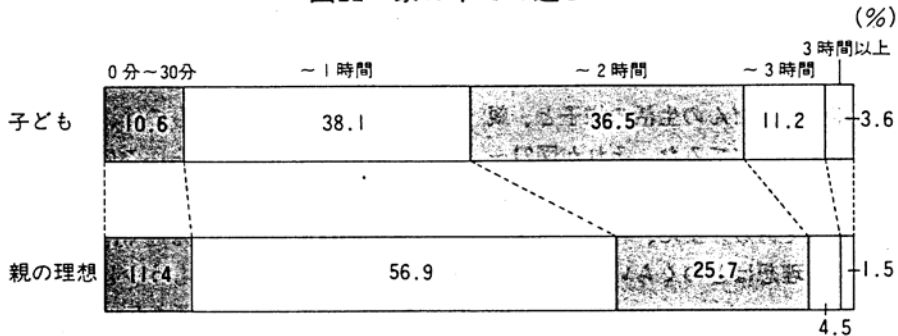


図23 テレビの視聴時間

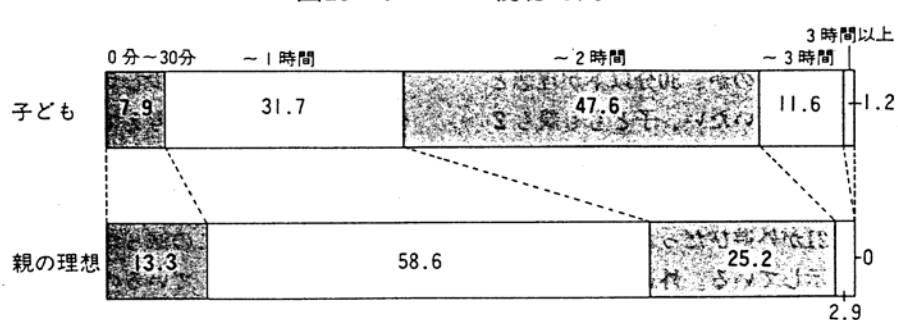


図24 家でしっかり勉強しているか

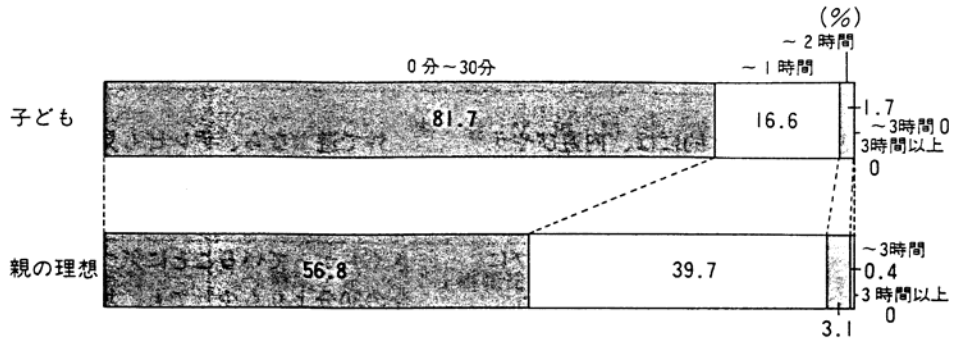
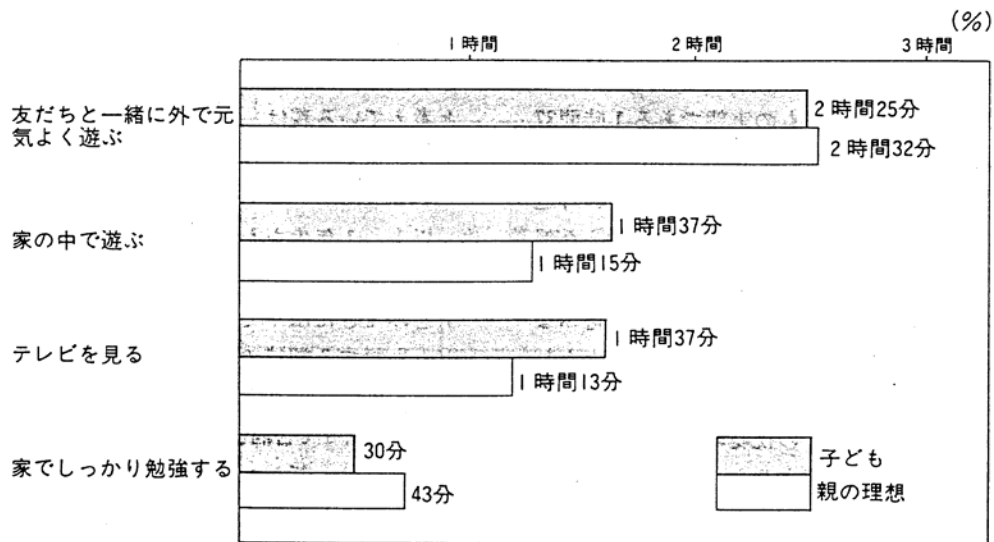


図25 親の願いと子どもの生活



## //// 外遊び時間との関係 ////

さて、親としては全体的には、内遊びやテレビの時間を、今よりも少なくし、勉強をもう少し多くさせたいと考えているようだが、理想としている時間によって、親をタイプに分け、もう少し細かくみていきたいと思う。

表4は、いずれも外遊びの理想の時間がどのくらいかによって、4つのタイプに分け、内遊び、テレビ、勉強の各時間についてどう考えているかを、表にしたものである。

表4-1)では、外遊びの理想の時間と、内遊びの理想の時間の相関だが、外遊びを1時間未満が理想と考えている親は、内遊びの理想的な時間も、子どもの実態である1時間37分よりも、30分少ない1時間7分くらいがよいと考えていることがわかる。そして、外遊びの理想とする時間が3時間以上と答えた親は、内遊びも1時間27分前後の時間を、1年生の理想と考えている。外でたくさん遊ぶなら、家の中でもしっかり遊べということらしい。

表4-2)のテレビの視聴時間も同じである。現在の子どもの実態よりも、少なくしてほしいという親の考えは変わらないが、その減らす割合は、外遊びの理想とする時間が長いほど差が小さい。

外で遊ぶなら、テレビも見てよいということだろう。ところが表4-3)をみると、今までの表4-1)、表4-2)とは、その様子が大きくちがっていることに気づく。勉強時間を、今の30分よりも少しでも、増やしてほしいことには変わりはないが、外遊びをたくさんしてほしいと思う親ほど、勉強時間は、それほど増やさなくていいと考えている。

つまり、外で遊ぶことと、勉強することは、表と裏の関係にあるらしい。その証拠として、逆に勉強の理想時間によるタイプ分けをした表4-4)をみると、勉強の時間を1時間以上と考えている親は、今の外遊びの時間を減らそうとさえ考えているのである。

以上、1年生をもつ母親について、さまざまな角度からデータをみてきたが、本レポートをみてきた限りでは、あらためて、親の子どもに対する期待の大きさに、気づかされた。また、勉強というさけて通れない現実を、理想とからませて苦悩している姿も、うかがえる。

そこには、新たなるスタートの小学校1年生が、これから成長していく姿を、大切に見守り、子どもの幸せを願う親の声が、かくされているように思う。

表4 外遊び時間との関係

表4-(1)

	外遊び時間の理想			
	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上
内遊び時間の理想	1時間7分 <	1時間18分 <	1時間22分 <	1時間27分

表4-(2)

	外遊び時間の理想			
	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上
テレビ視聴時間の理想	1時間2分 <	1時間9分 <	1時間17分 <	1時間20分

表4-(3)

	外遊び時間の理想			
	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上
勉強時間の理想	46分 >	45分 >	43分 >	37分

表4-(4)

	勉強時間の理想		
	30分未満	1時間未満	1時間以上
外遊び時間の理想	2時間37分 >	2時間23分 >	2時間21分

※おことわり：本文中に使用した写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

子ども研究ノート ⑩

# 手伝い



放送大学教授

深谷昌志

## 働くのが子どもの生活だった

このところ、子どもの生活史に関心を持ち、暇を見つけては、資料集めを行っている。先日『文部省年報』に目を通していると、次のような文面があった。これは文部省大書記官九鬼隆一が、明治9年に、各地区を視察した時の報告書の一節だが、

「年甫メテ67才ニ及ヘバ父母外ニ出ツル時ハ留リテ内ヲ守リ、外ニハ兒ヲ負ヒ草ヲ刈リ或ハ牛ヲ牧シ馬ニ秣ヒ、山ニ田ニ樵耕ノ業ヲ助ケ、内ニハ草鞋ヲ造リ、繩索ヲ綯ヒ、時アリテハ使价ニ走り、或ハ、物ヲ負担シテコレヲ商フ」

とある。就学を督促しても、子どもたちが、学校に来ないのにはそれなりの理由があるという指摘である。

このように、現在ではごく当たり前の就学という慣習が定着するのに障害となったのは、子どもたちが就労をしている事実であった。しかも、就学と就労との相克は、明治初年に限らず、かなり後まで続いている。

例えば、横山源之助の『日本の下層社会』や農商務省の『職工事情』など、明治30年代の労働条件を分析した資料には、10歳未満の幼年工を含めての年少労働が広く存在していた事実がもりこまれている。そのため明治31年の工場法制定案の中にも、

「九条 十才未満ノ幼者ノ工場ニ於テ使役スルコトヲ得ズ。但特別ノ事由アル工場ニ付テハ命令ヲ以テ本条ノ例外ヲ設クルコトヲ得」の条文が見られる。工場法は、50人以上の職工をかかえる工場を対象としているため、それ以下の企業は規制の枠外となる。そうした

ゆるやかな年少労働の禁止処置でも、但し書が必要なほど、働く子どもたちが多かったのである。

工場法が都市の問題とするなら、同じ時期に、山村では子守学校を設立する動きが見られる。これは、子守りのために就学できない子どもを対象として、放課後1～2時間の授業を行う試みで、長野県の信濃教育会などでは、明治31年に取調委員を任命して、本格的に子守学校作りにより出す気運が生じている。

もちろん、これらは明治時代の出来事で、さすが大正時代に入ると、学齡児童の就労そのものは、影を潜め始める。しかし、納豆売りや新聞配達、あるいは、家業の手伝いなどで働く子どもたちは、決して少なくなかったと考えられる。

昭和10年代の資料になるが、牛島義友の『農村児童の心理』の中に、表①のような資料が含まれている。これは当世風ないい方をすると、生活時間帯調査で、この結果によると、小学高学年生の「家の手伝い」は、平日で、都市山手の49分から農村の1時間31分となっており、これが休日となると、都市山手1時間15分、農村3時間40分のような数値になる。

なお、子どもたちの仕事内容の主なもの、庭はき、水汲み、子守り、草刈り、お使いなどであった。

## 今なお就学できない子どもも多い

このように見えてくると、子どもの生活と労働とが切っても切り離せない関係にあることがわかる。物心がついたら、それなりに働くのが子どもの生活であった。そうした意味では、かつての子どもには、幼児とおとなの時代とがあったが、子どもとしての季節はなかったといえよう。

日本の場合、子どもが労働から解放されたのはほぼ大正に入ってからであるから、長い子どもの歴史の中で、たかだか半世紀少しを経たにすぎない。しかも、表①に示した牛島の資料からも明らかなように、昭和に入っても、というより、昭和30年代に入るところまで、さまざまな形で、子どもが家業や家事を手伝うのは、むしろ当たり前の光景であった。無着成恭のすぐれた実践記録『山びこ学校』は、視点を変えるなら、子どもたちの労働の記録でもある。

もちろん、幼い子どもたちが働く姿はいたい

表① 子どもの生活時間

(昭和10年代後半)

平日	農村	都市山手	都市下町
睡眠	時分 8・43	時分 8・51	時分 9・15
学校生活	8・26	6・43	6・29
予習復習	0・44	1・30	0・40
読書	0・30	0・30	0・27
家の手伝い	1・31	0・49	1・16
遊び	0・45	1・19	1・27
ラジオ	0・19	0・25	0・24
映画	0	0	0・04
少年団行事	0・45	0	0

〔牛島義友『農村児童の心理』（巖松堂）昭22 p.121より〕

たしい。そうであるから、親たちは子どもが働かなくともすむ時代をつくろうと努力を重ねてきた。そして、ほぼ20年ほど前に、そうした時代を迎えることができた。

いわゆる発展途上国を総合すると、6秒の間に12人の子どもが生まれるが、そのうち、2人は乳幼児期に死亡し、5人は小学校へ入学できず、残りの5人の中で小学校を終了できるのは2人だけというデータもある。

そうした数値をあげるまでもなく、成田からほんの3～4時間飛行機に乗り、香港やマニラの空港に降りたつと、働く子どもたちの姿を見かけるのは、よく知られた事実であろう。アジアの中で比較的豊かといわれるこれらの都市でも、今なお学校に通えず、昼間から働く子どもが少なくないからである。

昨年、香港へ学校視察に出かけた。さすが国際自由貿易港らしく英語で授業をする純粋なイギリス風の私立学校もあったが、多くの学校は高層ビルのワンルームを使って、朝、昼、夜の三部授業を行っていた。日本なら、さしずめ小規模な学習塾という雰囲気、学校といっても専用のグラウンドや音楽室はおろか、廊下すらなかった。それでも、夜の部へ就学している子は幸せなほうで、ダウントウンへ行くと、食堂を手伝ったり、タバコのばら売りをしたり、自動車のドアを開け閉めしたりして働いている子どもたちを見かけた。教育委員会の話でも、正確な就学児の数はわからないという。もちろん、香港はアジアの中では恵まれた都市に属する。したがってアジアのその他の地域では、働くのが子どもの仕事で、日本で考えるような子どもの生活を見いだせない場合が多い。

## ホモ・ルーデンスとしての子どもたち

今まで述べてきたような子どもの歴史やア

ジアの子どもたちの状況を視野に置くと、現代の子どもたちは恵まれすぎていると思わざるをえない。

ホイジンガの「ホモ・ルーデンス」は、市民権をすっかり獲得した用語だが、フランスの社会学者ジャン・フォーラスティエは『四万時間』の中で、現代の社会を「ホモ・エコノミックス」から「ホモ・ルーデンス」への変化としてとらえている。有史以来、人類は働かないと生きていけないので、「経済人」—ホモ・エコノミクス—として生活を送ってきた。しかし、脱工業化社会の到来につれ、ようやく経済性を離れ、ホモ・ルーデンスとして生きていける時代を迎えた。ところが、ホモ・エコノミクスとしての生活に慣れたわれわれは、ホモ・ルーデンスの生き方にとまどいを感じているという指摘である。

それでもおとなの場合は、かつての時代のようにでないにせよ、働かなければならない状況に変わりはない。そうした意味では、ホモ・ルーデンスの恩恵に最も浴しているのは、子どもたちなのかもしれない。

そこで、子どもたちの生活ぶりを描いた二つのグラフを紹介しよう。筆者はこの10年来、各地を訪ねて子どもの生活を追い求める調査を行っているが、図①は、福井県のある小学校の事例である。ここは、ほうばがにの水揚げで知られる漁港であると同時に、らっきょうの栽培も盛んな半漁半農の地区を校区としている。父親の多くは、舟に乗りこんでいるため生活は不規則になりがちであり、当然母親が農業の担い手となる。したがって、地域的な背景を考えると、子どもたちが家事を手伝っていてもよさそうだが、調査日の3月11日、6年生29人のうち、家事をしたのは、3名にすぎなかった。それも、茶わんを並べた、あるいは、食器をふくのを手伝ったという程度の単純な仕事を15分したにとどまっている。

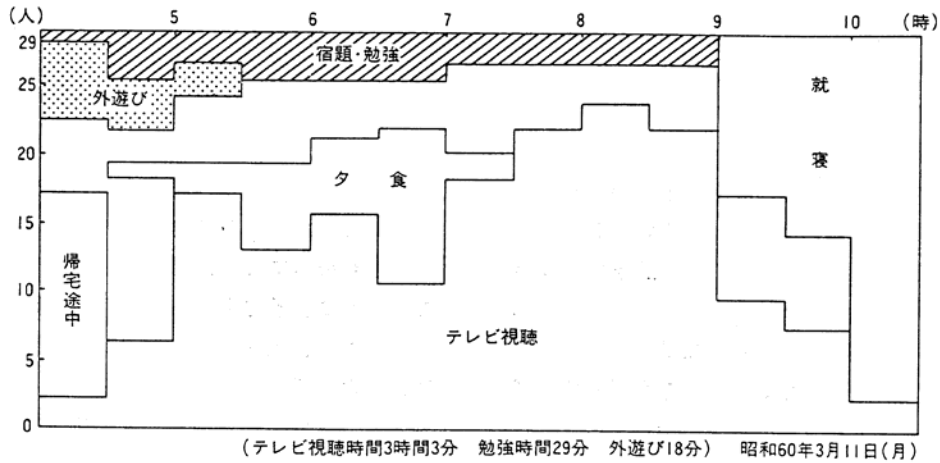


そしてその他の時間は、家にこもり、3時間ほどテレビを見ながら春の一日を過ごしている。

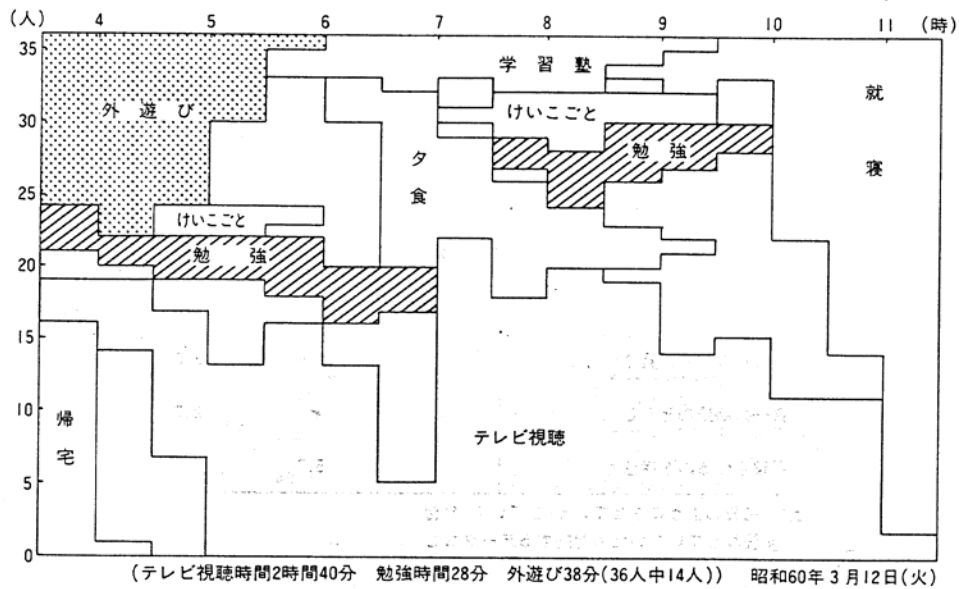
そして、もう一つの図②は、京都市西陣に

ある小学校の事例である。校区へ足を踏み入れると、カタカタと帯を織る音がしてくる。夕方の6時ごろまで機械を使っているので、後始末をして夕食をとり始めるのは、早くて

図① 福井県下のある漁村の小学6年生



図② 京都市西陣N小学校6年N組



も7時過ぎになる。一日中動いていた機械が止まるので、夕食後一家そろってテレビでくつろぐことになる。子どもたちのテレビ視聴時間が9時台以降に伸び、就寝時間が遅くなっているのは、こうした校区の事情を反映している。

そうした考察はともあれ、ほとんどの家庭が共働きであるから、買物や夕食の準備などをする子どもが多いのではと思っていた。しかし、N校の6年生36人のうち、家事を手伝っていたのは、5名であった。そのうち2人は、やや本格的に夕食の支度を行い、みそ汁を作ったり卵を焼いたりしていたが、残りの3名は掃除と食器洗い、仕事部屋の後片づけをしていた。

これらの2校は、校区の性格からいって平均的な日本の子どもより家事を手伝っていてもよさそうな事例である。しかし、そうした学校の子どもでも、家事らしいことをほとんど行っていない。昭和62年度にいくつかの市

町村から子どもの生活実態調査を依頼された。その中で、手伝いについてもふれているので、その結果を紹介すると、表②、図③の通りとなる。

いずれの場合も、中高校生になっても食べた食器を流しへ運ぶくらいの手伝いをしているだけで、子どもたちがほとんどとっていいほどに手伝いをしていないのがわかる。

### 子どもたちに家畜化の危機

遊び友だちを持たず、テレビを見たり、学習塾へ通ったりして、放課後の半日を過ごす。そして、用意された夕食を食べ、暖房のきいた子ども部屋にこもって、宿題に取り組む。このように、子どもたちは人工的な環境にとりかこまれ、生活感覚の欠落した状況の中で毎日を送っている。

火をつけてご飯を炊く、ナイフで木をけずる。あるいは、種をまいて野菜を育てる。そうした生きていく技術は、生活の中で当然獲

表② 手伝い ——ほとんど手伝っていない——

(%)

	小学生の親	中学生	中学生の親
食器の準備や食事の後片づけ	25.2	16.7	15.2
ふとんの敷き上げ	24.6	*	32.8
洗濯物を干したりとりこむ	4.0	6.9	5.5
ゴミを捨てに行く	3.3	6.2	2.6
夕はんのための買物に行く	2.8	2.6	2.0
自分の部屋のそうじ	1.5	*	2.7
料理を作るのを手伝う	1.3	5.7	2.2

(注) 毎日のようにさせている(している)割合

\*設問していないため対応するデータなし

横浜市民生局「児童・青少年の日常生活に関する調査報告書」(昭和62年)

得できる。だから、実生活を通して習得しにくい知識や技術を学ぶ場として学校が発達してきた。そして、学校教育全盛の現在を迎えたのだが、皮肉なことに、学校の発達と反比例する形で生活基盤が揺らぎ始め、生きていく力を持たない子どもが増加している。これでは、抽象的な知識や技術を習得できたとしても、それを生かすことができなくなる。知識は豊富であっても、生きていく力の低下した子どもたちである。

昨年の夏、アメリカの西海岸を訪れた折、親しくしている心理学の教授の自宅を訪ねた。夏休みのはずなのに、子どもたちの姿が見えない。キャンプにでも出かけたのかと思いたずねてみると、アルバイトへ行っているとのことであった。

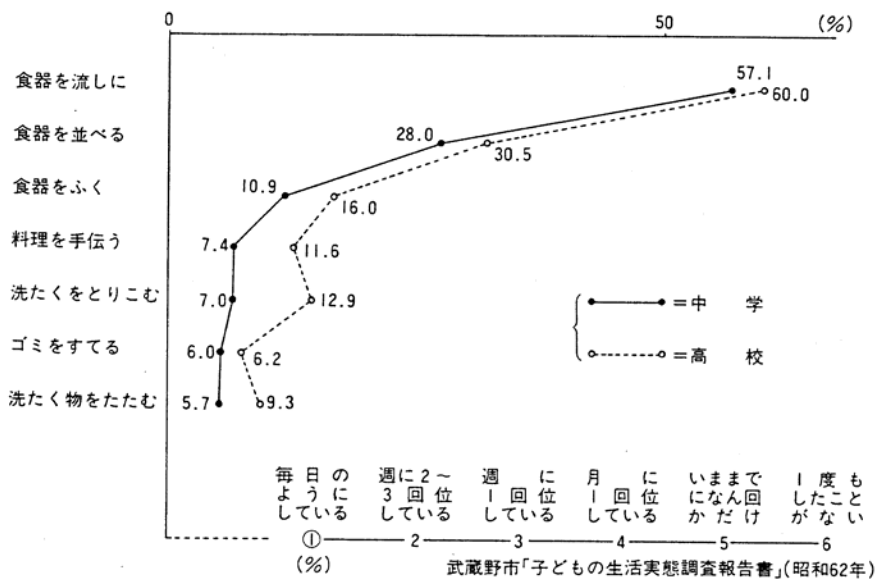
小学4年の男の子は近所の家の芝刈り、中学2年の女の子はハンバーガーショップの店員、高校2年の長男はガソリンスタンドというのが、彼らの働き口であった。かなり高給

取りと聞いているのに、子どもがなぜ働くのか理解しにくかった。「たしかに、われわれ夫婦は豊かな生活をしています。しかし子どもたちは、われわれと関係なく、第一歩から彼らの家庭を作らねばなりません。わが家が豊かだからこそ、子どもたちに働くことの大事さを教えたいのです」とは、心理学者の語る父親としての弁であった。

長男は大学入学の学資をかせぐために、長女はコンサートの切符を求めため、次男は趣味の動物切手を買うため、彼らの働いている理由だった。もちろん、高校生のアルバイト代で、大学入学に必要な費用をまかなえるはずがない。しかし、「自分でかせいだ金をもとにして大学へ行こうという姿勢がほしい」というのが、父親としての心情のようであった。

この話を聞きながら、良きアメリカの一端にふれたような感じがした。しかも彼の家庭だけでなく、こうした考え方が地域全体に定

図③ 手伝い —— 食器を流しへ運ぶだけ ——



着しているという。事実、子どものバイトでも、信賞必罰の原則が貫かれており、小学4年の坊やも、まじめな働きぶりが認められて、つい先週、時間当たり50セント高い家へ転職したばかりとのことであった。

夜になり、長男が帰ってきたので、話を聞いてみた。「僕は高校生としては、町で一番高いレートで働いています。大学へ入っても夏休みに働きに来てくれるから、学費は、だいたいまかなえると思っています」と彼は話していた。

その翌日、教授の奥さんはボランティアの日だとかで、病院へ出かけていった。町はずれにお年寄り専用の病院があり、そこへ、毎週1回、患者の身の回りの世話をしに出かけているという。その病院では、看護婦は医療関係の仕事だけを行い、その他の所用は何十人かのボランティアが引き受ける仕組みらしかった。

奥さんだけでなく教授のほうも10日に1度、精薄者の厚生施設グッドウィルに出かけ、おのおの家庭から出される家具や衣料を集めてまわる運転手のボランティアをしているという。

実力主義の原則の下に、子どもたちが働いている。その一方でおとなたちが、ボランティアとして、無償の奉仕活動をしている。われわれ日本人には理解しにくい話だが、残念ながらそうしたアメリカの社会の仕組みに、日本にない良さを感じたのはたしかだった。

考えてみると、われわれおとなもそうなのだが、特に、子どもたちの場合、働くことの厳しさも奉仕することの大切さも知らずに育っている。

そう考えてくると、問題は、お皿をふくのを手伝った、あるいは、洗たくものを干すのを助けたというような手伝いの多さ、少なさではなく、生きていく、あるいは、働くことの大事さを子どもたちにどう教えていくかにあるように思える。

教えていくというと、また、「それも、学校の仕事だ」との声があがってこよう。たしかにこのところ、労働体験や奉仕活動を、教育活動の中に導入する学校が増加している。しかし、手伝いの問題は、やはり主として家庭で担うべきものであろう。

国語や算数が少しぐらい苦手でも、生きていくのに不自由はない。しかし、ナイフひとつ使えない子が、いざというとき、どうやって生きていけるのであろうか。アメリカでは、このところ、サバイバル・アビリティの教育が重視されていると聞く。かつてのように生活をするのにやむをえずというのではなく、人間として生きていくのに不可欠だからという理由から、生きていく技術やたくましさを子どもたちに学ばせる必要を感じる。家事の手伝いも、こうした文脈の中に位置づけて考えると、「手伝い」という言葉以上の重みを感じられてくる思いがする。



● 資料1 調査票見本

② お子さんの入学のために、お子さんのもので次のようなものを特別に用意されましたか。

	使っていない	新しく買ったものを 使った	もらったものを 使った	今まであったものを そのまま使った
① ランドセル……………	1	2	3	4
② うわばき……………	1	2	3	4
③ 名札……………	1	2	3	4
④ よそ行きの服……………	1	2	3	4
⑤ 体操着……………	1	2	3	4
⑥ ノート……………	1	2	3	4
⑦ 鉛筆……………	1	2	3	4
⑧ 筆箱……………	1	2	3	4
⑨ かさ……………	1	2	3	4
⑩ ハンカチ……………	1	2	3	4
⑪ 漢字や計算のドリル…	1	2	3	4
⑫ 消しゴム……………	1	2	3	4
⑬ クレヨンのセット…	1	2	3	4
⑭ くつ……………	1	2	3	4
⑮ 鉛筆けずり……………	1	2	3	4

③ お子さんの入学のために、次のようなものをどのくらい買いましたか。  
(買っていないときは、0をご記入ください)

- ① ランドセル…………… (         ) 個
- ② うわばき…………… (         ) 足
- ③ 名札…………… (         ) 個
- ④ よそ行きの服…………… (         ) 着
- ⑤ 体操着…………… (         ) 着
- ⑥ ノート…………… (         ) 冊
- ⑦ 鉛筆…………… (         ) 本

- ⑧ 筆箱…………… (            ) 個
- ⑨ かさ…………… (            ) 本
- ⑩ ハンカチ…………… (            ) 枚
- ⑪ 漢字や計算のドリル…… (            ) 冊
- ⑫ 消しゴム…………… (            ) 個
- ⑬ クレヨンのセット……… (            ) 箱
- ⑭ くつ…………… (            ) 足
- ⑮ 鉛筆けずり…………… (            ) 個

④ お子さんの入学のために、特別に次のようなものを用意、または準備しましたか。用意、または準備したものの全部に○をつけてください。

- |          |                       |               |
|----------|-----------------------|---------------|
| 1. 勉強机   | 4. 入学式に参列する<br>お母さんの服 | 6. 入学式用の子ども服  |
| 2. 自転車   | 5. ピアノ・電子オルガン         | 7. おけいごとに通わせる |
| 3. 子ども部屋 | 8. 虫歯を治す              |               |

⑤ お子さんの入学にかかった費用は、あらゆるものを合計すると、だいたいいくらになると思いますか。

約 (            ) 円



その費用について、どう思われますか。

1 ———— 2 ———— 3 ———— 4  
かかりすぎ      やむをえない      ふつう      安くすんだ

⑥ 塾やおけいごとについておたずねします。

① 塾やおけいごとに行っていますか。

1 ———— 2 ———— 3 ———— 4  
入学前から      入学してから      いずれは      行かせる  
行っている      行っている      行かせたい      つもりはない

② ①で、「行っている」と答えた方のみ、お答えください。どういう所に行っていますか。あてはまるもの全部に○をつけてください。

- |         |               |                |
|---------|---------------|----------------|
| 1. 学習塾  | 4. 絵画         | 7. その他         |
| 2. そろばん | 5. スイミング      | (            ) |
| 3. 習字   | 6. ピアノ・電子オルガン |                |





- |                   | きちんと<br>できなくて<br>ならない | できていた<br>ほうが<br>いい | できなく<br>ても<br>よい |
|-------------------|-----------------------|--------------------|------------------|
| ⑤ 自分の家の住所を言う…………… | 1                     | 2                  | 3                |
| ⑥ 自分の名前を書く……………   | 1                     | 2                  | 3                |
| ⑦ ひき算をする……………     | 1                     | 2                  | 3                |
| ⑧ はしを正しく持つ……………   | 1                     | 2                  | 3                |
| ⑨ ひらがなを全部読む……………  | 1                     | 2                  | 3                |
| ⑩ ひらがなを全部書く……………  | 1                     | 2                  | 3                |
| ⑪ むいだ服をたたむ……………   | 1                     | 2                  | 3                |
| ⑫ 鉛筆を正しく持つ……………   | 1                     | 2                  | 3                |

II. 次に、教育についてのあなたのお考えをおたずねします。

⑨ 次のことがらは、学校ではどのくらい身につけられるとお考えですか。

- |                            | 十分に<br>つけられる<br>だろう | ある程度<br>身につけ<br>られる<br>だろう | どちら<br>とも<br>いえ<br>ない | あまり<br>身に<br>つけ<br>られ<br>ない<br>だろ<br>う | ぜん<br>ぜん<br>身に<br>つけ<br>られ<br>ない<br>だろ<br>う |
|----------------------------|---------------------|----------------------------|-----------------------|--|---|
| ① 最後までがんばりぬく力……………         | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ② 基本的な生活習慣……………            | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ③ 友だちと仲よくすること……………         | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ④ すすんで取り組む態度……………          | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ⑤ 勉強が得意になること……………          | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ⑥ 物を大切にすること……………           | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ⑦ 豊かな情操……………               | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ⑧ スポーツが得意になること……………        | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |
| ⑨ 食べ物の好ききらいをなくす<br>こと…………… | 1                   | 2                          | 3                     | 4                                      | 5   |

⑩ ⑨にあげた項目①～⑨のうちで、お子さんが小学校1年生の今、学校が力を入れてほしいと思うものの番号を順に、3つお書きください。

- ① 1番目に力を入れてほしいもの (            )
- ② 2番目に力を入れてほしいもの (            )
- ③ 3番目に力を入れてほしいもの (            )

● 資料1 調査票見本

11 では、9にあげた項目①～⑨のうちで、お子さんが小学校6年生になったとき、学校が力を入れてほしいと思うものの番号を順に、3つお書きください。

- ① 1番目に力を入れてほしいもの ( )
- ② 2番目に力を入れてほしいもの ( )
- ③ 3番目に力を入れてほしいもの ( )

III. あなたのお子さんについておたずねします。

12 あなたのお子さんは、入学したときにあなたが期待していた通りに成長して、現在を迎えていますか。

- |                | 期待した以上に<br>成長した | 期待より<br>やや上 | 期待した<br>通り | 期待より<br>やや下 | 期待を大きく<br>裏切った |
|----------------|-----------------|-------------|------------|-------------|----------------|
| ① 体力面……………     | 1               | 2           | 3          | 4           | 5              |
| ② がんばりぬく力…………… | 1               | 2           | 3          | 4           | 5              |
| ③ 友だち関係……………   | 1               | 2           | 3          | 4           | 5              |
| ④ 学力面……………     | 1               | 2           | 3          | 4           | 5              |
| ⑤ 積極的な姿勢……………  | 1               | 2           | 3          | 4           | 5              |
| ⑥ 性格面……………     | 1               | 2           | 3          | 4           | 5              |

13 12の①～⑥の中で、今後最も成長してほしいと思うものはどれですか。番号でお答えください。

( )

14 あなたのお子さんの将来について、どんな希望をお持ちですか。

- |                        | ぜったい<br>そうなって<br>ほしい | できれば<br>そうなって<br>ほしい | まあ<br>そうなって<br>ほしい | あまり<br>そうなって<br>ほしくない | ぜったい<br>そうなって<br>ほしくない |
|------------------------|----------------------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|
| ① 一流企業に就職する……………       | 1                    | 2                    | 3                  | 4                     | 5                      |
| ② 広い家に住む……………          | 1                    | 2                    | 3                  | 4                     | 5                      |
| ③ 社会的に尊敬される人になる……………   | 1                    | 2                    | 3                  | 4                     | 5                      |
| ④ 良い父母となり幸せな家庭を作る…………… | 1                    | 2                    | 3                  | 4                     | 5                      |
| ⑤ やさしい思いやりのある人になる…………… | 1                    | 2                    | 3                  | 4                     | 5                      |
| ⑥ 有名高校、一流大学に入学する……………  | 1                    | 2                    | 3                  | 4                     | 5                      |

15 お子さんの成績は、クラスの中で今のところどのくらいだと思いですか。

- 上のほう      中よりやや上      中くらい      中よりやや下      下のほう
- ① 算数…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ② 国語…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ③ 体育…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

16 お子さんは、ふだんの日、次のようなことをどのくらいしていますか。平均時間をお書きください。

- ① 友だちと一緒に外で元気よく遊ぶ…… (            ) 時間 (            ) 分
- ② 家でしっかり勉強する…………… (            ) 時間 (            ) 分
- ③ 家の中で遊ぶ…………… (            ) 時間 (            ) 分
- ④ テレビを見る…………… (            ) 時間 (            ) 分

17 16の①～④について、小学校の1年生としては、どのくらいが理想だと思いますか。

- ① 友だちと一緒に外で元気よく遊ぶ…… (            ) 時間 (            ) 分
- ② 家でしっかり勉強する…………… (            ) 時間 (            ) 分
- ③ 家の中で遊ぶ…………… (            ) 時間 (            ) 分
- ④ テレビを見る…………… (            ) 時間 (            ) 分

18 お子さんに、1か月にどのくらいのおこづかいを与えていますか。

1. 与えていない
2. 与えている → (            ) 円

19 最後に、お母さまご自身のことについておたずねします。

a. あなたのお仕事は

1. 主婦
2. パートで働いている
3. フルタイムで働いている
4. 家業（お店、工場など）を手伝っている
5. その他

b. よろしかったら、あなたの最終学歴をお教えてください。

1. 中・高卒    2. 短大卒    3. 大卒    4. その他

—— これで終わりです。長い間ありがとうございました。 ——

● 資料2 基礎集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目	全体	性別			
		男子	女子		
サンプル数	556	296	260		
① 本人のきょうだい関係	きょうだいの数	1人っ子	10.8	10.1	11.6
		2人	60.5	59.9	61.2
		3人	24.7	26.0	23.3
		4人	3.6	3.7	3.5
		5人以上	0.4	0.3	0.4
	上から順番	1番上	48.3	47.1	49.6
		2番目	40.3	40.6	39.9
		3番目	10.3	10.6	10.1
		4番目	1.1	1.7	0.4
	② 入学のために用意したもの	ランドセル	1	0	0
2			80.2	81.8	78.4
3			19.6	18.2	21.2
4			0.2	0	0.4
うわばき		1	0	0	0
		2	90.5	90.2	90.7
		3	1.4	1.7	1.2
		4	8.1	8.1	8.1
名札		1	1.3	0.7	2.0
		2	70.6	72.7	68.2
		3	27.9	26.6	29.4
		4	0.2	0	0.4
よそ行きの服		1	9.5	9.9	8.9
		2	44.9	38.5	52.2
		3	16.9	15.4	18.7
		4	28.7	36.2	20.2
体操着		1	0	0	0
		2	97.5	98.3	96.6
		3	1.4	1.0	1.9
		4	1.1	0.7	1.5
ノート		1	1.5	1.7	1.2
		2	74.8	73.4	76.6
		3	23.5	24.7	22.2
		4	0.2	0.2	0
鉛筆		1	0.2	0.3	0
		2	64.0	64.9	62.9
		3	32.4	31.4	33.6
		4	3.4	3.4	3.5
筆箱	1	0	0	0	
	2	75.1	77.3	72.6	
	3	22.2	20.0	24.7	
	4	2.7	2.7	2.7	
かさ	1	0.4	0.7	0	
	2	46.6	50.3	42.5	
	3	13.7	11.8	15.8	
	4	39.3	37.2	41.7	
ハンカチ	1	0.2	0.3	0	
	2	28.8	30.2	27.4	
	3	9.4	8.4	10.4	
	4	61.6	61.1	62.2	

質問項目	全体	性別			
		男子	女子		
② 入学のために用意したもの	漢字や計算のドリル	1	29.9	33.7	25.5
		2	55.7	53.7	58.1
		3	11.4	11.2	11.6
		4	3.0	1.4	4.8
	消しゴム	1	1.3	1.0	1.6
		2	71.8	73.6	69.7
		3	14.8	13.9	15.9
		4	12.1	11.5	12.8
	クレヨン	1	0.5	0	1.2
		2	76.6	76.9	75.9
		3	14.9	14.6	15.4
		4	8.0	8.5	7.5
	くつ	1	0.2	0	0.4
		2	62.5	63.3	61.7
		3	4.2	4.4	3.9
		4	33.1	32.3	34.0
鉛筆けずり	1	3.1	3.1	3.1	
	2	37.7	37.5	37.8	
	3	14.1	15.0	13.1	
	4	45.1	44.4	46.0	
③ 入学のために用意したものの数	ランドセル	買ってない	16.2	14.2	18.5
		1個	83.6	85.4	81.5
		2個以上	0.2	0.4	0
	うわばき	買ってない	7.7	8.0	7.5
		1足	68.2	68.6	67.7
		2足	22.8	22.1	23.6
		3足以上	1.3	1.3	1.2
	名札	買ってない	25.3	23.9	27.0
		1個	60.5	60.6	60.1
		2個	10.1	11.2	8.9
		3個以上	4.1	4.3	4.0
	よそ行きの服	買ってない	53.5	59.1	46.9
		1着	30.5	24.6	37.3
		2着	6.3	6.0	6.7
		3着	6.0	5.6	6.3
	体操着	買ってない	2.6	1.7	3.5
		1着	88.3	88.6	88.2
		2着	8.5	9.7	7.1
		3着以上	0.6	0	1.2
	ノート	買ってない	34.1	34.1	34.5
1冊		6.6	6.2	6.9	
2冊		13.5	15.4	11.4	
3冊		18.0	15.0	21.2	
4冊		8.3	9.9	6.5	
5冊		13.9	13.2	14.7	
6冊以上	5.6	6.2	4.8		

質問項目	全体	性別			
		男子	女子		
入学のために用意したものの数	鉛筆	買っていない	35.8	35.5	36.1
		1-6本(1ダース)	5.9	5.0	6.8
		7-12本(2ダース)	34.6	34.4	34.6
		13-24本(3ダース)	18.5	18.7	18.1
		25本以上	5.2	6.4	4.4
	筆箱	買っていない	24.0	22.8	25.3
		1個	69.8	71.4	68.0
		2個	5.5	4.8	6.3
		3個以上	0.7	1.0	0.4
	かさ	買っていない	49.2	44.7	54.4
		1本	40.7	43.3	37.7
		2本	9.3	10.9	7.5
3本以上		0.8	1.1	0.4	
ハンカチ	買っていない	65.7	62.2	69.7	
	1枚	0.9	1.0	0.8	
	2-3枚	16.6	20.6	12.0	
	4-5枚	12.5	10.3	14.3	
	6枚以上	4.3	5.9	3.2	
	漢字や計算のドリル	買っていない	54.3	56.2	52.3
1冊		10.0	8.7	11.5	
2冊		24.2	24.5	23.9	
3-5冊		10.0	9.9	10.2	
6冊以上		1.5	0.7	2.1	
消しゴム	買っていない	29.0	26.7	31.6	
	1個	40.9	41.4	40.7	
	2個	18.7	20.5	16.6	
	3個	6.5	6.6	6.3	
のクレヨン	買っていない	23.7	25.6	21.5	
	1箱	70.6	68.4	72.9	
	2箱	5.0	4.6	5.6	
	3箱以上	0.7	1.4	0	
くつ	買っていない	32.3	30.9	33.8	
	1足	34.7	37.0	31.9	
	2足	22.9	21.1	25.1	
	3足	7.5	8.4	6.4	
	4足以上	2.6	2.6	2.8	
鉛筆けずり	買っていない	59.5	61.3	57.6	
	1個	38.2	36.9	39.6	
	2個	1.5	1.1	2.0	
	3個以上	0.8	0.7	0.8	
入学前後に用意したものの数	勉強机	した	76.2	81.8	70.1
		しない	23.8	18.2	29.9
	自転車	した	6.2	6.1	6.3
		しない	93.8	93.9	93.7
	子ども部屋	した	11.7	10.1	13.4
		しない	88.3	89.9	86.6
	お母さんのお部屋	した	25.7	27.1	24.1
		しない	74.3	72.9	75.9

質問項目	全体	性別			
		男子	女子		
入学前後に用意したものの数	楽器	した	2.1	0.4	4.0
		しない	97.9	99.6	96.0
	も子服ど	した	46.9	40.1	54.5
		しない	53.1	59.9	45.5
	こおけい	した	19.3	22.3	16.1
		しない	80.7	77.7	83.9
	虫歯	した	30.4	30.8	29.9
		しない	69.6	69.2	70.1
	入学にかかった費用	0-2万円	13.7	12.6	14.8
		~4万円	17.6	18.4	16.7
~6万円		18.3	17.5	19.1	
~8万円		14.1	16.2	11.9	
~10万円		18.7	17.9	19.9	
~15万円		11.5	11.5	11.2	
~20万円		4.5	4.4	4.5	
~25万円		1.1	0.9	1.5	
~30万円		0.5	0.6	0.4	
費用について		1	8.0	7.5	8.5
	2	51.6	53.0	50.1	
	3	20.7	21.4	19.9	
	4	19.7	18.1	21.5	
塾やおけいこごとについて	こ塾やおけいこに行か	1	55.3	50.4	60.9
		2	18.4	20.9	15.6
		3	19.9	21.9	17.6
		4	6.4	6.8	5.9
	行っているか	1	13.1	17.4	8.9
		2	3.1	3.7	2.6
		3	29.4	26.8	31.9
		4	10.0	5.3	14.7
		5	54.6	62.1	47.1
		6	40.4	22.1	58.6
7		8.1	12.1	4.2	
週に何回行っているか	1	29.8	27.3	32.6	
	2	34.5	38.1	30.9	
	3	21.8	19.0	24.7	
	4	7.8	7.3	8.2	
	5	4.5	6.8	2.1	
	6	1.3	1.5	1.0	
	7	0.3	0	0.5	
	8	0	0	0	
行かせたいか	1	26.8	25.3	28.4	
	2	41.4	41.0	41.9	
	3	41.4	36.1	47.3	
	4	5.1	3.6	6.8	
	5	33.8	41.0	25.7	
	6	16.6	7.2	27.0	
	7	7.0	9.6	4.1	

● 資料2 基礎集計表

質問項目	全体	性別		
		男子	女子	
一人で起きる	1	49.2	50.7	47.7
	2	27.5	25.7	29.5
	3	15.1	15.4	14.7
	4	8.2	8.2	8.1
あいさつをする	1	60.8	57.9	64.0
	2	30.0	30.8	29.1
	3	7.6	9.9	5.0
	4	1.6	1.4	1.9
たし算をする	1	47.3	47.7	46.9
	2	28.1	27.9	28.3
	3	13.1	14.1	12.0
	4	11.5	10.3	12.8
一人で着替える	1	92.5	91.1	94.2
	2	6.2	7.2	5.0
	3	1.3	1.7	0.8
	4	0	0	0
自分の家の住所を言う	1	73.2	66.3	80.9
	2	15.9	18.9	12.5
	3	6.9	9.6	3.9
	4	4.0	5.2	2.7
自分の名前を書く	1	94.6	92.8	96.5
	2	4.2	5.5	2.7
	3	0.7	1.0	0.4
	4	0.5	0.7	0.4
ひき算をする	1	28.5	29.9	26.8
	2	24.3	26.5	21.8
	3	22.4	20.6	24.5
	4	24.8	23.0	26.9
はしを正しく持つ	1	67.3	64.7	70.4
	2	19.9	20.2	19.5
	3	10.2	12.7	7.4
	4	2.6	2.4	2.7
ひらがなを全部読む	1	77.5	73.9	81.7
	2	13.7	13.7	13.6
	3	5.5	7.2	3.5
	4	3.3	5.2	1.2
ひらがなを全部書く	1	54.1	45.4	64.0
	2	31.1	34.7	27.1
	3	8.4	9.6	7.0
	4	6.4	10.3	1.9
ぬいだ服をたたむ	1	53.9	44.5	64.7
	2	27.5	30.1	24.5
	3	13.5	17.5	8.9
	4	5.1	7.9	1.9
鉛筆を正しく持つ	1	58.3	55.8	61.3
	2	26.0	24.3	27.9
	3	12.2	15.4	8.5
	4	3.5	4.5	2.3

質問項目	全体	性別		
		男子	女子	
一人で起きる	1	37.5	36.0	39.1
	2	60.7	62.3	59.0
	3	1.8	1.7	1.9
あいさつをする	1	62.7	62.7	62.8
	2	37.1	37.3	36.8
	3	0.2	0	0.4
たし算をする	1	10.8	11.7	9.7
	2	51.4	50.2	52.9
	3	37.8	38.1	37.4
一人で着替える	1	74.2	74.3	74.0
	2	25.8	25.7	26.0
	3	0	0	0
自分の家の住所を言う	1	59.3	60.0	58.7
	2	40.3	39.3	41.3
	3	0.4	0.7	0
自分の名前を書く	1	58.8	58.6	58.9
	2	39.2	40.0	38.4
	3	2.0	1.4	2.7
ひき算をする	1	8.3	8.5	8.1
	2	38.5	38.9	38.1
	3	53.2	52.6	53.8
はしを正しく持つ	1	59.0	60.0	57.7
	2	40.3	39.3	41.5
	3	0.7	0.7	0.8
ひらがなを全部読む	1	22.5	23.1	21.9
	2	61.3	58.6	64.3
	3	16.2	18.3	13.8
ひらがなを全部書く	1	15.7	15.0	16.6
	2	53.6	51.3	56.0
	3	30.7	33.7	27.4
ぬいだ服をたたむ	1	47.6	44.1	51.5
	2	51.3	54.2	48.1
	3	1.1	1.7	0.4
鉛筆を正しく持つ	1	44.7	45.2	44.0
	2	52.0	49.7	54.8
	3	3.3	5.1	1.2
最後までがんばりぬく力	1	9.0	8.8	9.3
	2	67.3	70.8	63.3
	3	19.7	17.7	22.0
	4	3.8	2.4	5.4
	5	0.2	0.3	0
基本的な生活習慣	1	13.2	12.1	14.4
	2	62.3	61.7	62.9
	3	19.1	20.0	18.1
	4	5.2	5.8	4.6
	5	0.2	0.4	0
友だちと仲よくする	1	35.9	35.6	36.3
	2	58.5	59.7	57.1
	3	5.2	4.7	5.8
	4	0.4	0	0.8
	5	0	0	0

質問項目		全体	性別			
			男子	女子		
9	学校で身につけられること	りすずんで取り組む態度	1	11.3	11.3	11.4
			2	62.4	65.5	58.8
			3	23.2	20.8	25.9
			4	3.1	2.4	3.9
			5	0	0	0
	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	意になる	1	6.5	5.8	7.3
			2	44.6	44.4	44.8
			3	43.3	45.0	41.3
			4	5.1	4.1	6.2
			5	0.5	0.7	0.4
	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	に物をする	1	9.1	10.6	7.3
			2	54.0	52.8	55.2
			3	28.4	29.4	27.4
			4	7.8	6.5	9.3
			5	0.7	0.7	0.8
	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	豊かな情操	1	8.3	7.8	8.9
			2	49.8	48.2	51.7
			3	33.2	37.2	28.6
			4	8.0	6.8	9.3
			5	0.7	0	1.5
学校で力を入れてほしいもの(一年生)	得意になる	1	8.3	8.5	8.1	
		2	51.5	48.7	54.8	
		3	33.3	37.4	28.6	
		4	6.7	5.1	8.5	
		5	0.2	0.3	0	
学校で力を入れてほしいもの(一年生)	食べ物の好き嫌い	1	20.3	17.7	23.2	
		2	60.9	61.9	59.8	
		3	14.8	16.3	13.1	
		4	3.8	4.1	3.5	
		5	0.2	0	0.4	
10	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	1番目に力を入れてほしいもの	9-①	25.6	26.6	24.6
			9-②	12.0	10.3	14.0
			9-③	32.8	32.5	33.0
			9-④	12.2	12.5	11.9
			9-⑤	4.5	4.4	4.7
			9-⑥	2.4	3.0	1.7
			9-⑦	9.1	8.9	9.3
			9-⑧	0.6	0.7	0.4
			9-⑨	0.8	1.1	0.4
	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	2番目に力を入れてほしいもの	9-①	18.2	18.2	18.2
			9-②	12.9	10.4	15.7
			9-③	19.8	20.9	18.6
			9-④	21.3	20.4	22.6
			9-⑤	3.2	4.1	2.1
			9-⑥	10.1	10.8	9.3
			9-⑦	11.3	12.6	9.7
			9-⑧	2.0	1.5	2.5
			9-⑨	1.2	1.1	1.3

質問項目		全体	性別			
			男子	女子		
10	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	3番目に力を入れてほしいもの	9-①	17.3	16.4	18.2
			9-②	8.1	7.8	8.5
			9-③	16.4	16.7	16.1
			9-④	17.2	17.2	17.4
			9-⑤	6.5	9.3	3.4
			9-⑥	11.3	11.5	11.0
			9-⑦	16.0	13.0	19.4
			9-⑧	4.0	4.8	3.0
			9-⑨	3.2	3.3	3.0
	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	1番目に力を入れてほしいもの	9-①	39.8	40.0	39.5
			9-②	5.3	4.7	6.0
			9-③	8.0	8.0	8.1
			9-④	22.4	22.2	22.6
			9-⑤	13.9	14.2	13.6
			9-⑥	0.8	1.1	0.4
			9-⑦	9.0	8.7	9.4
			9-⑧	0.6	0.7	0.4
			9-⑨	0.2	0.4	0
11	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	2番目に力を入れてほしいもの	9-①	25.0	25.6	24.3
			9-②	6.9	7.3	6.4
			9-③	11.2	12.8	9.4
			9-④	29.4	27.1	31.9
			9-⑤	12.0	12.1	11.9
			9-⑥	3.1	2.6	3.8
			9-⑦	8.9	8.1	9.8
			9-⑧	3.1	4.0	2.1
			9-⑨	0.4	0.4	0.4
	学校で力を入れてほしいもの(一年生)	3番目に力を入れてほしいもの	9-①	14.7	15.2	14.1
			9-②	5.6	5.6	5.6
			9-③	14.7	14.8	14.5
			9-④	16.7	14.8	18.8
			9-⑤	12.9	12.6	13.2
			9-⑥	7.7	7.8	7.7
			9-⑦	22.3	24.4	20.1
			9-⑧	4.6	4.4	4.7
			9-⑨	0.8	0.4	1.3
12	期待通りに成長したか	体力面	1	17.3	18.0	16.5
			2	22.6	24.6	20.4
			3	45.2	41.9	49.0
			4	14.5	15.1	13.7
			5	0.4	0.4	0.4
	期待通りに成長したか	がんばりぬく力	1	7.6	7.0	8.3
			2	23.5	23.6	23.4
			3	43.7	43.7	43.7
			4	23.9	24.6	23.0
			5	1.3	1.1	1.6
	期待通りに成長したか	友だち関係	1	13.2	15.8	10.2
			2	24.2	23.9	24.4
			3	44.6	43.8	45.7
			4	16.7	15.8	17.7
			5	1.3	0.7	2.0

● 資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別				
			男子	女子			
12	期待通りに成長したか	学力面	1	8.0	8.5	7.5	
			2	20.5	20.1	21.0	
			3	48.8	48.9	48.5	
			4	20.5	20.4	20.6	
			5	2.2	2.1	2.4	
		積極的な姿勢	1	6.3	4.9	7.9	
			2	19.2	18.7	19.8	
			3	40.1	44.4	35.1	
			4	32.4	30.6	34.4	
			5	2.0	1.4	2.8	
		性格面	1	6.9	7.1	6.7	
			2	17.2	18.0	16.2	
			3	53.4	53.7	53.0	
			4	21.6	20.5	22.9	
			5	0.9	0.7	1.2	
13	成長してほしいこと	体力面	7.6	6.7	8.7		
		がんばりぬく力	32.1	31.9	32.4		
		友だち関係	13.0	11.9	14.2		
		学力面	8.0	8.1	7.9		
		積極的な姿勢	28.3	29.8	26.5		
		性格面	11.0	11.6	10.3		
14	将来の希望	就職する	一流企業に	1	2.7	4.0	1.2
			2	25.7	32.2	18.4	
			3	51.8	45.0	59.6	
			4	17.9	17.0	18.8	
			5	1.9	1.8	2.0	
		広い家に住む	1	3.0	3.6	2.4	
			2	36.9	38.8	34.7	
			3	53.9	51.1	56.9	
			4	6.0	6.5	5.6	
			5	0.2	0	0.4	
		社会的に尊敬される人になる	1	12.7	17.0	8.0	
			2	53.8	56.1	50.9	
			3	30.7	25.1	37.1	
			4	2.6	1.8	3.6	
			5	0.2	0	0.4	
		良い家庭となる	1	51.7	54.9	48.2	
			2	35.4	34.9	36.0	
			3	12.3	10.2	14.6	
			4	0.2	0	0.4	
			5	0.4	0	0.8	
		やさしい思いやりのある人になる	1	73.8	75.0	72.4	
			2	21.2	20.8	21.7	
			3	4.6	4.2	5.1	
			4	0	0	0	
			5	0.4	0	0.8	
有名高校、一流大学に入学する	1	2.9	4.4	1.2			
	2	38.5	41.8	34.8			
	3	44.7	42.1	47.8			
	4	13.1	10.6	15.8			
	5	0.8	1.1	0.4			

質問項目		全体	性別			
			男子	女子		
15	成績	算数	1	13.7	14.7	12.6
			2	23.0	21.8	24.4
			3	50.8	51.2	50.5
			4	9.5	9.5	9.4
			5	3.0	2.8	3.1
		国語	1	11.5	10.5	12.7
			2	22.7	18.6	27.4
			3	53.3	55.8	50.4
			4	9.1	9.8	8.3
			5	3.4	5.3	1.2
		体育	1	9.7	9.5	10.0
			2	26.3	25.3	27.5
			3	47.8	47.7	47.7
			4	13.6	15.4	11.6
			5	2.6	2.1	3.2
16	どのくらいしているか	元友だちと遊ぶ	0分～30分	4.9	3.7	6.1
			～1時間	14.0	11.2	17.2
			～2時間	28.6	28.9	28.3
			～3時間	35.3	39.0	31.2
			3時間1分以上	17.2	17.2	17.2
		家で勉強する	0分～30分	81.7	83.6	79.5
			～1時間	16.6	15.7	17.7
			～2時間	1.7	0.7	2.8
			～3時間	0	0	0
			3時間1分以上	0	0	0
		家の中で遊ぶ	0分～30分	10.6	10.8	10.3
			～1時間	38.1	37.3	39.3
			～2時間	36.5	39.1	33.4
			～3時間	11.2	10.4	12.0
			3時間1分以上	3.6	2.4	5.0
		テレビを見る	0分～30分	7.9	7.6	8.0
			～1時間	31.7	26.8	37.1
			～2時間	47.6	51.9	43.1
			～3時間	11.6	12.1	10.8
			3時間1分以上	1.2	1.6	1.0
17	どのくらいが理想か	元友だちと遊ぶ	0分～30分	0	0	0
			～1時間	7.6	6.6	8.6
			～2時間	41.1	39.1	43.3
			～3時間	41.3	44.3	38.0
			3時間1分以上	10.0	10.0	10.1
		家で勉強する	0分～30分	56.8	58.6	54.7
			～1時間	39.7	39.2	40.4
			～2時間	3.1	2.2	4.1
			～3時間	0.4	0	0.8
			3時間1分以上	0	0	0
		家の中で遊ぶ	0分～30分	11.4	13.5	9.1
			～1時間	56.9	54.4	59.7
			～2時間	25.7	27.8	23.4
			～3時間	4.5	3.1	6.0
			3時間1分以上	1.5	1.2	1.8



質問項目		全体	性別		
			男子	女子	
17	がどのくらい テレビを見る	0分～30分	13.3	10.8	16.0
		～1時間	58.6	59.9	57.4
		～2時間	25.2	25.6	24.6
		～3時間	2.9	3.7	2.0
		3時間以上	0	0	0
18	おこづかい	1	65.9	61.9	70.5
		2	34.1	38.1	29.5
	おこづかいの額(1か月)	1～100円	15.5	12.1	19.7
		～200円	10.7	12.2	9.0
		～300円	9.7	6.5	14.5
		～400円	6.3	8.4	3.2
		～500円	17.6	18.7	16.4
		～1000円	18.3	21.6	13.4
		～1500円	6.3	6.5	5.9
		～2000円	6.8	6.5	7.3
		～3000円	8.0	7.5	8.7
3001円以上	0.8	0	1.9		

質問項目		全体	性別			
			男子	女子		
19	母親について	母親の仕事	1	62.3	65.1	59.1
			2	13.6	13.3	14.1
			3	9.5	8.0	11.2
			4	9.9	9.4	10.4
			5	4.7	4.2	5.2
	母親の最終学歴	1	61.2	59.1	63.5	
		2	20.3	25.1	15.0	
		3	13.9	11.1	17.0	
		4	4.6	4.7	4.5	